

## ●当院の臨床研修の特色

1. バランスの良い病院規模  
研修医の定員に対し、指導医・上級医数、病床数(480床)、患者数のバランスがよく、研修指定病院に不可欠な要素を確保している。
2. NPO法人卒後臨床研修評価機構の認定施設  
臨床研修病院としての機能を評価する国内唯一の第三者機関から認定された研修施設である。
3. 研修のコア“救命救急センター”  
第三次救命救急センターを有し、一般的な疾患から重篤な救急疾患まで、多岐にわたって診療に携わることが出来る。救急科ローテートと救急外来日当直で、経験すべき症状・疾患・病態の約80%を達成することが出来る。日当直は内科系および外科系指導医や上級医1名ずつと、2年次と1年次研修医1名ずつ、計4名で診療に当たる。研修医にとってはストレスが少なく、実に良くつく体制といえる。さらに、週1会の救急外来カンファランスがあり、貴重な臨床症例を共有することが出来る。
4. 内科系プログラムの充実  
全ての内科診療科を標榜し、特にプライマリーケアを習得するために必須な内科系の研修体制が充実している。
5. シームレスな臨床研修  
初期から後期へ、シームレスな臨床研修をモットーとしており、当院で後期研修を継続する医師が徐々に増え始めている。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム) ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者 : 秋田赤十字病院研修プログラム / 平野 秀人
- 研修スケジュール : 募集人数 8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内 科						救 急			選択必修			
2年次	地域医療							自由選択科					

### ●協力型病院名 (科目)

秋田回生会病院 (精神科)	置戸赤十字病院 (地域医療)
市立大森病院 (地域医療)	市立角館総合病院 (地域医療)
能代山本医師会病院 (地域医療)	市立秋田総合病院 (麻酔科)

### ●協力施設

礼文町国民健康保険船泊診療所	今村病院	町立羽後病院
御野場病院	秋田県赤十字血液センター	能代保健所
大仙保健所	秋田市保健所	他2施設

## ■教育体制

- ・オリエンテーション：採用時、電子カルテの使い方や検査手技などを指導する
- ・救急外来カンファランス：救急外来で経験した症例の検討会 (毎週金曜日の朝)
- ・勉強会：基本的知識や手技に関する講義や実技指導 (ほぼ毎週金曜日の夕方)
- ・臨床病理検討会：剖検例や手術症例に関する検討会 (年6回)
- ・研修医発表会：研修期間中に経験した症例発表会 (年2回)
- ・院外研修会、研究会、学会への参加：希望する会への積極的な参加を促している

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院の研修はローテートを1週単位で組み立てられ、経験すべき症例のほとんどを経験できるようになっています。幅広く選択する人もいれば志望科を集中して選択する人もおり、自由度が高いです。また、秋田県で唯一の三次救急施設であり、軽症から重症まで老若男女さまざまの方が受診されます。研修医もその診療にあたることが多く、初めは不安も大きかったです。しかし「一通り」といいほどの診療科がある、かつ垣根が低く相談しやすい環境はその不安を払拭するには十分すぎるほどのものでした。決して過保護すぎず、かといって独りで路頭に迷うことのないよう指導を受けながら研修を行える環境です。これを書いている時点で研修医生活は残り2ヶ月ですが、「いい研修医生活だったな」と割と素直に言える自分がいます。皆さんも、ぜひ。

### ●先輩研修医から一言

私からの一言、月並みですが「初心忘るべからず」、室町時代の能楽師、世阿弥の言葉です。世阿弥は、人生の中には、いくつもの初心があると言っています。皆さん達が医学部を目指していた頃、理想の医師像を思い描いた医学生時代、そして研修医として社会に第一歩を踏み出した時の謙虚な姿勢を、どうぞ忘れないでいて下さい。初期臨床研修の2年間で、どのような医師になろうとしているのか、そのためには何をすれば良いのか、じっくり考えてみましょう。医師という社会的立場の高さから、人間ですから、つい自分を見失いそうになることがあります。その時は、どうか初心に戻って下さい。

私自身もプログラム責任者に就いた頃の初心に戻って、研修医一人一人と向き合い、指導者の方々と共に、皆さんの持てる力を引き出すお手伝いをするを誓います。

## ■病院理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神に基づき、患者の皆様が「来て安心」・「受けて満足」・「確かな信頼」を得られる心の通った病院を目指します。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

秋田県内唯一の第3次救命救急センターと総合周産期母子医療センター(新生児病床36床を含む)を併設している。救命救急センターは、2名の専属医師と各診療科の協力で、年間約16,000名の受診者、約3,150件の救急車による搬入患者に対応している。平成24年からドクターヘリを導入し、まさに秋田県における救命救急医療の拠点となっている。その他、神経病センター(50床)、消化器病センター、人工関節センター、腎センター、健康増進センターを有し、専門性の高い医療を提供している。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心血管外科	整形外科	形成外科
医師数	1	3	4	2	4	4	13	4	1	2	7	10	3	3	0	6	2
指導医数	1	2	1	1	3	3	2	2	1	1	4	6	2	2	0	5	1

診療科名	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	救急科	緩和ケア内科	健診部	検査部	病理診断科	合計
医師数	2	1	4	4	3	1	3	1	1	2	3	1	1	1	1	98
指導医数	1	1	3	1	3	1	1	1	0	2	3	1	1	1	0	57

- 許可病床数 : 480床 (一般480床)
- 入院患者数(1日平均) : 397名
- 外来患者数(1日平均) : 780名
- 平均在院日数(一般病床) : 12.4日
- 分娩件数 : 973件
- 救急医療の提供実績 : 【1日平均患者数】44.0人  
【1日平均救急車患者搬送数】8.4人

- 医療法上の位置づけ : 3次医療機関
- 救急取扱件数 : 16,075件
- 救急車取扱件数 : 3,081件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安 : 【1年次】400,000円(月額、手当・税込)、6,300,000円(年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】450,000円(月額、手当・税込)、7,200,000円(年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌、厚生年金、厚生年金基金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り(24時間対応)
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 8名
- 応募資格 : 平成30年に実施される医師国家試験の受験者で、医師臨床研修マッチングシステムに参加する方
- 応募必要書類 : (1)採用選考申込書【様式指定；病院ホームページ上よりダウンロード可能】(2)卒業見込証明書(3)成績証明書(4)健康診断書
- 試験内容 : (1)面接(2)小論文
- 申込締切日 : 平成29年6月の予定
- 試験実施日 : 平成29年7月～8月

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1年次 8名 うち女性 3名  
2年次 8名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学 : 秋田大学、新潟大学、自治医科大学
- 当直回数(月平均) : 月4～6(当直は病院管理当直医1名、ICU当直医1名、救急当直医(内・外)1名ずつ、PICU・NICU当直医1名ずつ、2年次1名、1年次1名の屋根瓦方式での研修を行う)
- 研修終了後の進路 : 秋田大学、新潟大学、群馬大学、東京大学大学院、北秋田市民病院
- 後期研修プログラムの有無 : 検討のため、直接お問い合わせください。

## ■申し込み、問い合わせ先

秋田赤十字病院 事務部総務課  
010-1495 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢222-1  
TEL 018-829-5000 FAX 018-829-5255  
E-mail [kensyu@akita-med.jrc.or.jp](mailto:kensyu@akita-med.jrc.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

中通総合病院の研修は、内科系、外科系すべての医師に必要な基本的知識・技能および診療態度を身につけ、『病める人』の全体像を捉えることのできる全人的医療の習得を目標としています。単に疾患だけに目を向けるのではなく、医療の安全性を踏まえ、他のスタッフと共に、家族・環境・社会情勢などを含め、大きな視点から患者さんを「診る目」を養って欲しいと思います。当院は長い「初期研修」の歴史を有し、現在の研修プログラムを支える指導医の多くは自ら当院で初期研修の経験があり、様々な角度から皆さんをサポートしています。医師には、患者さんに親しみその人生を尊重すると共に、つぶさに観察し問題点をまとめ上げる視点と思考力が必要です。2年という短い期間ですが、当院で私たちと共にその礎を創っていただき、温かみのある臨床医として成長し、次のステップに踏み出して頂きたいと考えています。

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム)

●プログラム名／プログラム責任者 : 中通総合病院初期臨床研修プログラム／鈴木 敏文

●研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門	選択必修科				
2年次	選択必修科			地域医療			選択科					

●協力型病院名 (科目)

秋田回生会病院 (精神科)	中通リハビリテーション病院 (リハビリテーション科)
---------------	----------------------------

●協力施設

大曲中通病院	秋田県赤十字血液センター
--------	--------------

## ■教育体制

プライマリケアセミナー (毎週月曜日)、POC、カンファランス、画像検討会、抄読会など各科勉強会 (消化器外科、整形外科、内科、消化器内科、精神科など)、医局MC、救急カンファランス (毎朝)、指導医と研修医との懇談会、全職種参加の院内臨床研修ワークショップ、学術集談会、全職員学習会、東北北海道地区他病院との研修医交流会、全国青年医師交流集会、その他

## ■メッセージ

**●指導医から一言**

当院は、「臨床医に必要な基本的知識、技能および診療態度を身につけ、『病める人』の全体像を捉えることのできる医師」を育てることを目標とし、救急から在宅まで幅広い研修の場を用意しています。また、半世紀を超える当院の歴史は、ローテート研修をベースとして多くの青年医師を育て続けてきた歴史でもありました。これまでの長い研修指導の経験から、2年間の臨床研修ではまず、基本的、総合的な臨床力を身につけることを目標とします。否応なしに進む高齢化社会の中で、受診する患者さんは、多くの疾病を持ち、また精神的疾患や、家族の問題、経済的問題などが複雑にからみあったケースが少なくありません。専門が何科であっても、総合的な臨床力と人間力をもった医師が、患者さんから、そして地域からますます求められています。同時に、医師だけではなく、看護師、医療技術者、ソーシャルワーカーなど多職種が協同するチーム医療でなければ医師がいくら優秀でもその力は十分には発揮できません。将来の専門分野の選択に際しても、広い裾野をつくることは飛躍を準備する懐の深さにつながると信じます。医師研修に期待を寄せる、やる気あふれた各職種の協力のなかで、患者中心のチーム医療を実践しながら、パワーがあり、腕の立つ、そしてヒューマンな青年医師とともに育てゆく臨床研修にしたい。そのための時間と費用と労力を注ぎたいと小生は考えています。充実した初期研修から多くの先輩医師が次のステップへ勇躍しています。是非、一緒に学びましょう。

**●先輩研修医から一言**

当院では、医師としての基礎がしっかり学べます。研修医のうちに数多くの診療科を回り、患者さんも walk in から救急車まで幅広い症例を診ることが出来ます。また指導医の先生方は皆たいへん優しく、研修医に対してプライベート面でも相談にのってもらえるメンター制度等、技術的にも精神的にも安心して学べます。技術的に学びたい方はもちろん、責任ある仕事に多少の不安がある方も、まず見学して頂き、当院の良さを肌で感じていただければと思います。見学お待ちしております。

## ■病院理念

中通総合病院は、患者さんの立場に立った親切で良い医療を行い、他の医療機関と協力して地域医療に貢献していきます。

－基本方針－

- 医療の質の向上  
私たちは、常に新しい医学の成果に学び、医療の質の向上に努めます。高度な専門知識とともに、病氣や障害をもつ方々の苦しみや生き方に共感できる人間性と高い人格・教養を身に付けるため日々研鑽します。
- 納得と安心、安全な医療の提供  
私たちは、患者さんの権利の擁護と、プライバシーの保護に努めるとともに、診療記録を適正に管理し、原則としてこれを開示します。患者さんの自己決定権を尊重し、十分な説明と同意にもとづく医療を追求するとともに、診療に関わる安全管理に最大限努力します。年間を通じて、24時間の救急医療体制で臨みます。
- 病院の民主的運営と活性化  
私たちは、民主的病院運営と責任体制の確立、職員労働の効率化と適正な評価を通じ職員一人一人の能力が最大限発揮され、病院の活性化が図られるよう努めます。
- 地域社会との連携  
私たちは、病診連携、病病連携、福祉施設や行政機関との連携を推進し、地域に根ざした保健・医療・福祉のネットワークづくりに参画します。高額医療機器の共同利用など、地域の医師や医療機関が病院の諸施設・設備を気軽に利用できるような協力します。中通病院友の会や地域の方々の、病気の予防、健康増進、保健衛生活動に協力します。
- より良い医療・福祉制度の実現  
患者さんがいつでも安心してかかれる医療制度の実現と福祉の向上、人間の尊厳がより大切にされる社会保障制度の充実を願い、患者さんや地域、他の医療・福祉施設の方々とともに努力します。

## ■診療内容

●診療の特徴、実績

中通総合病院は、明和会のセンター病院として高水準の設備と充実したスタッフのもと、あらゆる分野で高度な医療の提供に努めています。当院の特徴は、①高度な専門医療を行う一方、プライマリ・ケアにも力を入れています。②地域医療連携部を設置し、地域の医療機関や福祉施設と連携しており、64列CT、MRIなど当院の高度医療機器を地域の医療機関に共同利用していただいています。③開設以来、「いつでも、どこでも、だれでも」「患者の立場に立った親切で良い医療」をめざし、365日24時間救急医療を行っています。

●診療科・医師数

診療科名	内	神内	消	循	小	外	整	小外	脳外	呼外	心外	眼	皮	泌	産婦	放	麻	病理	精	救急	歯	合計
医師数	14	2	5	5	5	11	6	-	2	0	2	1	-	4	4	3	1	1	3	2	1	72
指導医数	7	2	2	2	3	8	4	-	2	0	2	1	-	2	3	2	1	1	1	1	-	44

- 許可病床数 : 450床 (一般)
- 入院患者数 (1日平均) : 384名
- 外来患者数 (1日平均) : 881名
- 平均在院日数 (一般病床) : 17日
- 分娩件数 : 328件
- 救急医療の提供実績 : 開設以来「いつでも、どこでも、誰でも」を基本理念とし、365日24時間体制で救急医療を行なっています。
- 医療法上の位置づけ : 2次医療機関
- 救急取扱件数 : 18,543件
- 救急車取扱件数 : 2,986件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安 : 【1年次】417,500円 (月額、手当・税込)、5,879,375円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】435,000円 (月額、手当・税込)、6,388,500円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (365日24時間利用可能、病児保育室有り)  
【その他】女性医師の育児支援のための勤務配慮あり

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 10名
- 応募資格 : 平成 30 年国家試験受験予定者
- 応募必要書類 : (1)履歴書 (2)卒業 (見込み) 証明書 (3)成績証明書
- 試験内容 : (1)面接 (2)小論文
- 申込締切日 : 平成 29 年 8 月末予定
- 試験実施日 : 平成 29 年 8 月予定 (随時)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数 : 1年次 7名 うち女性 0名  
2年次 3名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学 : 秋田大学、弘前大学、名古屋大学
- 当直回数 (月平均) : 4回 (独り立ち10月から)
- 研修終了後の進路 : 当院で後期研修 1名、大館市立扇田病院 1名、慶應大学病院 1名
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、消化器内科、小児科、放射線科、麻酔科、病理科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳腺内分泌科、産婦人科、泌尿器科、眼科、神経精神科、総合診療・家庭医)

**申し込み、問い合わせ先**  
**社会医療法人明和会 中通総合病院**  
**臨床研修担当部**

010-8577 秋田県秋田市南通みその町 3-15  
 TEL 018-833-1122(7504) FAX 018-831-9418  
 E-mail [miyakawa@meiwakai.or.jp](mailto:miyakawa@meiwakai.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 本プログラムの特徴には、
- 1) 経験豊富な多数の各科指導医とともに、各研修医の皆さんの将来のニーズに応じた希望分野の研修をテラーメードでバランスよく組むことができること、
  - 2) 本院と臨床研修協力病院、東京医科歯科大学医学部附属病院との「たすきがけ方式」によって、さまざまな観点からより経験値の高い研修を積むことが出来ること、
  - 3) ハワイ大学 SimTiki シミュレーションセンターと連携した本学シミュレーション教育センターの活用、経験豊富な各科専門医によるプライマリケア集中セミナー、全科医師による総合診療・救急部必修症例検討会等の実践により、グローバルスタンダードを目標とした充実した研修が安心して受けられること、があげられます。
- A. 自由選択プログラム B. 小児科・産科重点プログラム C. 総合診療スーパーローテプログラムの3つがあり、各研修医の皆さんのニーズに応じて責任を持って2年間の研修ローテーションの調整にあたります。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：秋田大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム A: 自由選択プログラム／長谷川 仁志  
 ●研修スケジュール 募集人数 27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	自由選択1(専門診療科)		内科						地域医療	選択必修(2科目)	救急		
2年次	救急			自由選択2									

- プログラム名／プログラム責任者：秋田大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム B: 小児科・産科重点プログラム／寺田 幸弘  
 ●研修スケジュール 募集人数 4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科・産婦人科					内科			救急			
2年次	救急	地域医療	自由選択									

- プログラム名／プログラム責任者：秋田大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム C: 総合臨床スーパーローテプログラム／長谷川 仁志  
 ●研修スケジュール 募集人数 4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合診療部	内科					選択必修(2科目)	救急			地域医療	
2年次	自由選択											

## ●協力型病院名(科目)

東京医科歯科大学医学部附属病院(内科、外科、救急、小児科、産婦人科、精神科 ほか)	秋田厚生医療センター(内科、外科、救急、小児科 ほか)
市立秋田総合病院(内科、外科、救急、小児科、精神科 ほか)	秋田赤十字病院(内科、外科、救急、小児科、産婦人科 ほか)
中通総合病院(内科、外科、救急、小児科、産婦人科 ほか)	由利組合総合病院(内科、外科、救急、小児科、産婦人科 ほか)

他 32施設

## ●協力施設

中通リハビリテーション病院	大湯リハビリ温泉病院	森岳温泉病院
大曲中通病院	国立病院機構あきた病院	にかほ市国民健康保険小出診療所
秋田県赤十字血液センター	秋田中央保健所	

他 1施設

## ■教育体制

- 1) 各種レジデントスキルアップセミナーの開催：毎週開催されるプライマリケア集中セミナーをはじめ、各種救急セミナー、胸部・腹部エコー実践セミナー、エコーガイド下中心静脈カテーテル挿入セミナー、外科縫合セミナー等を定期的に開催し各分野の経験保証を充実させており、各種シミュレータは、研修医の皆さんが自由に利用できます。さらに、ハワイ大学 SimTiki シミュレーションセンターと連携した国際水準のレジデントシミュレーション研修を充実していきます。
- 2) 総合診療・救急部必修症例セミナー：将来何科に進んでも大切な診療能力を修得するため、総合的な臨床推論に加え、全科専門医が参加し、各科のポイント指導も充実した、研修医向けの症例検討セミナーを定期開催しております。幅広くかつ重要ポイントを深く理解できる総合診療能力がしっかり身に付きます。
- 3) 指導医(メンター)制度の導入：2年間担当してもらうメンターから、どの診療科にいてもサポートを受けられ、安心して研修できます。また、女性の研修医は女性医師メンターのサポートも受けられます。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

本研修センターは、院内すべての診療科の経験豊富で熱心なメンバーで構成され、各科の主要症状や病態に対して総合的な診療能力修得中心に研修する方針を進めております。さらには、様々な観点から工夫した研修システムにより研修医の皆さんが医師として将来どの科に進んでも大切な総合的診療能力を無理なく確実に修得し、自信を持ってスムーズに専門医研修へ移行できるよう全力でサポートいたします。是非、私たちと一緒に安心して医師としての人生をスタートしましょう。

### ●先輩研修医から一言

大学院の初期臨床研修で最大のメリットは、指導医が多いことです。受け持ち患者のことで悩んだとき、救急外来でどう対応すればよいか困ったとき、すぐに指導医に相談できます。そばにいてくださるだけで安心して診療に当たれますし、悩んでも答えが見えないとき、そっとヒントを与えてくださいます。研修を始めたばかりのころはものすごく不安がありました。身近な指導医の存在が大きな力になりました。大病院では、一つ一つの症例への深い考察が可能です。私は医師として走り始めた最初の時期にじっくり患者と向き合えるということ、その後の医師人生において大きな糧になると信じています。当院は三次医療機関ですが、当院や東京医科歯科大学医学部附属病院での研修(三次)、市中病院へのたすき掛け研修(二次)、診療所などでの地域医療研修(一次～二次)を通じて、患者が来院するまでの流れや医療の全体像の理解が深まります。将来どのフィールドで診療を行うにせよ、患者の状況を理解できることで診療の幅が広がると思います。2018年度から新専門医制度がスタートすることから、初期臨床研修2年間をいかに過ごすかがこれまで以上に重要になってきます。これを読んでくださっているみなさんは、自分の学びの性格や将来のビジョンをより明確化した上で研修病院を選択していただければと思います。そして、一人でも多くの方々が秋田大学医学部附属病院を医師のスタート地点に選んでくださることを心より願っています。その選択が間違いではないことは、保証します！

## ■病院理念

患者にとって安心できる医療環境のもとで、良質で高度な医療を適切に提供することをおして、優れた医療人の育成と医学研究の進歩のため積極的に役割を果たすとともに、地域医療・保健活動の中心としての役割を担い、さらに国際的にも貢献できるよう努めます。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

特定機能病院は、高度医療の提供、先進的医療技術の開発を行うのにふさわしい医療スタッフと医療設備が充実している病院に対して厚生省が認可するものです。本院は平成6年に認可を受け、医療機関から多くの紹介患者さんを受け入れ、その機能を十分に発揮しています。

### ●診療科・医師数

診療科名	1内	2内	3内	老年	腫瘍内科	1外	2外	心外	脳外	小外	小
医師数	29	27	22	11	6	9	15	7	9	4	18
指導医数	9	20	14	5	2	8	6	4	4	2	10

診療科名	産婦	精神	整	皮	泌	眼	耳鼻	放	麻	中央施設等	合計
医師数	19	17	12	20	18	14	9	12	19	14	311
指導医数	7	9	2	8	11	7	6	7	4	11	156

- 許可病床数：613床(一般 577床、精神 36床)
- 入院患者数(1日平均)：505.7名
- 外来患者数(1日平均)：1,006名
- 平均在院日数(一般病床)：16.5日
- 分娩件数：389件
- 救急医療の提供実績：本院は3次救急医療機関です。救急患者さんの収容については2次救急医療機関や消防本部からの依頼だけでなく、一般の患者さんからの依頼も受け入れます。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：6,757件
- 救急車取扱件数：1,624件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1年次】410,000円(臨床研修手当130,000円/月及び奨励金100,000円/月を含む)(月額・手当・税込)4,920,000円(年額・賞与・手当・税込)【2年次】410,000円(臨床研修手当130,000円/月及び奨励金100,000円/月を含む)(月額・手当・税込)4,920,000円(年額・賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管轄健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り(平日7:45～18:30、土曜日8:00～18:30(時間外も有り))【その他】短時間勤務制度、病児・病後児保育室

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：35名
- 応募資格：第112回医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書(2)卒業(見込)証明書 \*所定応募用紙をホームページよりダウンロードしてください。
- 試験内容：面接
- 申込締切日：各試験日の1週間前
- 試験実施日：平成29年7月末～8月末

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 18名 うち女性 8名  
2年次 6名 うち女性 5名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学、東海大学、埼玉医科大学
- 当直回数(月平均)：4回(オンコール体制)
- 研修終了後の進路：秋田大学、秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、他
- 後期研修プログラムの有無：有り(全診療科)

## ■申し込み、問い合わせ先

国立大学法人 秋田大学医学部附属病院  
 総合臨床教育研修センター

010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼44番地2  
 TEL 018-884-6233 FAX 018-884-6457  
 E-mail [kenshuu@hos.akita-u.ac.jp](mailto:kenshuu@hos.akita-u.ac.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、研修医と何度も面談しながら出来るだけ本人の要望を取り入れ、柔軟かつ自由選択性の高いプログラムにしています。主として、1年目に内科、救急、選択必修、地域医療などの基本科を、2年目に放射線科や精神科、希望選択科をローテートする場合がありますが、希望診療科を長く研修することも、多科をスーパーローテートすることも可能な自由度の高いプログラムとなっています。また、当院は日本内科学会教育病院、日本外科学会修練施設などでもあるため、最短で内科認定医や総合内科専門医、外科専門医等の受験資格に繋がります。当院の初期研修は、症例は多彩で豊富、たくさんの経験を積むことができ、プライマリ・ケアおよび総合診療的な力の修練はもちろん、専門・後期にも繋がる研修が可能となっています。

各診療科とも、指導医はみんな熱心で、手厚い指導体制となっており、積極的に質問し学ぶことができます。また、救急研修の一環として、選択必修以外の外科系各科（脳神経外科・整形外科・泌尿器科・心臓血管外科・眼科・耳鼻咽喉科）から希望の診療科を選択し、週単位でショートローテートしています。この経験は救急の現場で大変役立っています。もちろん、月単位でこれらの診療科をスーパーローテートすることも可能です。さらに、秋田県厚生連全病院の他、複数の病院が協力型病院となっており、多彩なたすきがけ研修も可能となっています。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム） ※平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者：由利組合総合病院研修プログラム／西成 民夫
- 研修スケジュール 募集人数 9 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科 6 ヶ月						救急 1.5 ヶ月	自由選択 2.5 ヶ月			選択必修 2 ヶ月	
2 年次	地域医療	自由選択（専門科研修）11 ヶ月										

●協力型病院名（科目）	
秋田大学医学部附属病院（消化器内科 他）	本荘第一病院（消化器内科）
市立横手病院（消化器内科）	横手興生病院（精神科）
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター（精神科）	秋田厚生医療センター（消化器内科 他）

他 7 施設

●協力施設		
国立病院機構あきた病院	由利本荘保健所	老人保健施設ひまわりの里
秋田県赤十字血液センター		

## ■教育体制

- ・研修医抄読会（1 ヶ月に 1 回）：自分の選んだ論文を抄読しディスカッションする
- ・研修医症例検討会（2 ヶ月に 1 回）：経験した症例や勉強した内容を発表する
- ・臨床病理検討会（C P C）（1 ヶ月に 1 回）：毎月実施。研修医が発表する場合もある
- ・医局カンファランス（1 ヶ月に 1 回）：各診療科からの症例報告。併せて研修医カンファランスを実施
- ・その他院内での研修会、セミナー等多数あり（任意参加）：院内学術発表会、由利消化器病セミナー、救急オリエンテーション、院内感染講習会、医療安全研修会、インフルエンザセミナー、ノロウィルスセミナー、由利本荘医師会合同カンファランス など
- ・院外研修会、セミナー、学会等への参加：ローテート中の診療科と相談のうえ参加（参加希望に応じ、できるだけ参加してもらうようにしています）
- ・英会話レッスン：研修医を対象に週 1 回院内に講師を招いて実施

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院での初期研修目標はプライマリ・ケア能力取得です。1 年目研修のはじめには診断と共に輸液、抗生剤、基本的手技のオーダーと経験ができるように配慮しています。同じ目的で研修医勉強会、救急カンファランスなどほぼ毎週あります。地域の病院としては産婦人科と小児科のスタッフが充実しています。産婦人科は年間分娩約 440 件、手術約 220 件あるなかで偏りなく研修できます。小児科は入院数年約 1,000 名と多く、外来専門クリニックも充実しています。外科は年間手術約 500 件で緊急も多く、各領域にわたり症例豊富です。外科希望研修医は 2 年目 1 人平均約 40 例執刀医でかなりの経験と考えます。東北地方で不足の常勤麻酔科医は当院 4 名で、麻酔科ローテートは研修医から人気があります。消化器内科は日本大学から 2 名の専門医派遣を得て、各診療科協力のもと研修やコンサルトの不利はなくなっています。一方で呼吸器内科常勤医が不在となりますが、肺癌は外科、老人の肺炎は各科が協力して診療します。CPC が病理常勤医 2 名の指導で毎月あり、研修科目としても選択されています。当直は 1 年目見学介助と救急研修を経て、2 年目からスタッフ医師と実際に当直診療します。病院は鳥海山・子吉川・日本海と共にあり、気持ちよい眺望が私たちを励ましてくれます。どうぞ見学に、そしてご自分の希望に叶えば研修にいらして下さい。

### ●先輩研修医から一言

当院の研修の特徴は上級医、同期との距離が近いことです。常勤医が少ない分、上級医に患者さんのことで相談することが多く、自分の意見で治療方針が決定することもあります。そのため、より多くの知識・経験が必要であり、さらに勉強しなければというモチベーションが生まれます。また、研修医だけの医局があるため、上級医に相談しにくいこと、日常業務で失敗したことを包み隠さず話せる雰囲気があり、お互いに切磋琢磨し勉強に励むことができます。研修医は少ないですが、このような恵まれた環境で一人一人責任感を持って日々頑張っています。

## ■病院理念

### 【病院の理念】

質の高い医療により地域に貢献する。

### 【病院の基本方針】

- ① 快適で安全な人間尊重の医療を実践する。
- ② 多様なニーズと進歩に対応できる医療を実践する。
- ③ 中核病院としてふさわしい設備、医療技術を追求する。
- ④ 患者中心の責任ある仕事を遂行する。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

由利本荘・にかほ二次医療圏の中核的な病院として、救急から急性期医療、周産期医療、小児医療、在宅医療、へき地医療等、様々な医療分野を手厚くカバーしています。他の医療機関や福祉施設等との連携を密にしながら、救急から在宅まで一貫した地域医療の提供を図っています。さらに、住民検診、事業所健診などの保健予防活動にも力を入れており、地域住民の“いのちと健康”を守るため尽力しています。また、1.5 テスラ MRI やライナック、128 列マルチスライス CT の導入等、最新の医療機器の充実にも努めています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	循環器内科	消化器内科	腫瘍・代謝内科	呼吸器内科	神経内科	精神科	小児科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	脳神経外科	麻酔科	整形外科
医師数	7	3	2	2	2	0	0	4	6	2	1	3	4	5
指導医数	6	2	0	1	2	0	0	2	5	2	0	2	3	2

診療科名	リハビリ	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	歯科口腔外科	病理診断科	保健福祉活動室	研修医	一般	感染	合計
医師数	1	0	4	4	1	2	1	2	2	1	10	—	—	69
指導医数	1	0	3	3	1	2	1	1	2	0	—	—	—	41

- 許可病床数：606 床（一般 602 床、感染症 4 床）
- 入院患者数（1 日平均）：434 名
- 外来患者数（1 日平均）：1,131 名
- 平均在院日数（一般病床）：16.9 日
- 分娩件数：365 件
- 救急医療の提供実績：当院は、救急告示病院、病院群輪番制病院、二次救急医療機関として基本的に全診療科を受け入れしています。平成 26 年度の救急患者数は 13,683 人で 1 日平均は 37 人。内訳は、内科 2,738 人、小児科 3,110 人、整形外科 1,969 人、外科 1,047 人、脳神経外科 1,328 人、循環器内科 925 人、その他 2,566 人となっています。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：13,903 件
- 救急車取扱件数：2,246 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1 年次】499,800 円（月額、手当・税込）、6,756,581 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】531,400 円（月額、手当・税込）、7,627,200 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：東京都農林漁業団体健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24 時間対応可能 保育対象年齢：0 歳～小学校就学前）  
【その他】短時間勤務制度、深夜業制限、時間外労働制限

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：9 名
- 応募資格：平成 30 年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：履歴書 ※所定様式あり（当院ホームページよりダウンロード可）
- 試験内容：面接
- 申込締切日：-
- 試験実施日：平成 29 年 8 月（3 回実施予定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1 年次 6 名 うち女性 1 名  
2 年次 4 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学、熊本大学、聖マリアンナ医科大学
- 当直回数（月平均）：2～4 回（当直は 2 年次から開始）
- 研修終了後の進路：-
- 後期研修プログラムの有無：有り（各科秋田大学等と連携 ※詳細は担当までお問い合わせください。）

## ■申し込み、問い合わせ先

秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院  
総務管理課 佐藤 隼

015-8511 秋田県由利本荘市川口字家後 38  
TEL 0184-27-1200 FAX 0184-27-1277  
E-mail jimusitu@yuri-hospital.honjo.akita.jp

## ●当院の臨床研修の特色

- ① 地域の中核病院として、地域住民の健康、命を守るという使命感を強くもった病院で、急性期治療に責任をもって当たっています。当院で研修することにより、医師の使命感は強く養われます。その使命感、責任感により、研修医は成長します。
- ② 「実践躬行」これが研修の目標です。理論や信条を自ら進んで行為にあらわしていくこと。たくさん勉強してたくさん手を動かし、たくさんの患者さんを救う医師になるべく、修行する場が「ひらか研修道場」です。研修終了時には、医師としてどこにいても頼られる存在になっています。
- ③ また豊かな自然に囲まれ、温厚な地域の方々と交わることで、癒され元気をもらいます。

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : 平鹿総合病院臨床研修プログラム / 伏見 悦子
- 研修スケジュール 募集人数 10 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (消化器・糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科)								救急(内科(帰属))	外科		
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	地域保健 (1週間)・選択科 (希望により複数科も可能)							

## ●協力型病院名 (科目)

横手興生病院 (精神科)	羽後町立羽後病院 (地域医療)
かつの厚生病院 (地域医療)	湖東厚生病院 (地域医療)
秋田大学医学部付属病院 (麻酔科 (自由選択))	東北大学病院 (救急科 (自由選択)、神経内科 (自由選択))

秋田厚生医療センターほか 4 施設

## ●協力施設

秋田県横手保健所	おぎわら内科診療所	福嶋内科医院
八木橋医院		

## ■教育体制

1. 研修管理委員長：診療部長 伏見 悦子  
臨床研修指導責任者：循環器内科・リハビリテーション科診療部長 伏見 悦子
2. 臨床病理研究会の実施状況：12回 / 年
3. 図書室有り / インターネット有り (医局)
4. 学会・研究会への参加費用支給：有り
5. 毎日 (第二内科ミーティング、外科術前検討会)  
週 1 回 (呼吸器カンファランス、シネカンファランス、第二内科・脳外科ミーティング、医局抄読会、第二内科抄読会)  
月 1 回 (症例検討報告会)  
9月～12月まで毎月 3 回 (画像診断勉強会)  
研修医講義 (4月～6月まで毎週月曜日・木曜日)

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

医師の技量は、長い年月を経て身につけ熟していく部分と、医師として一步を踏み出した時のみ得られる部分があります。どのような研修をするかは非常に大事です。当院の指導医は研修医を指導するだけではなく、研修医とともに学んでいます。病院全体が教育を核にしながらか成長しようという姿勢で研修医教育にあたっています。たくさんの症例の治療にあたることができ、プライマリケアの基本的な診療能力は、研修終了時には自然に身につけています。そして後期研修は内科、外科ともに基幹病院としてのプログラムを考えており、安心して初期研修期間を送ることができます。

### ●先輩研修医から一言

当院では、研修医が主体的に診療に携わる点で、一般的な研修病院での「お客様状態」「学生さん状態」から一步進んだ研修が可能ところが魅力の一つです。初期研修医のうちから上級医のサポートのもとで治療方針を考え、手術やカテーテル治療、化学療法なども行います。そこから学ぶことは多く、自分自身の技術や知識の向上につながります。また、自分が行った治療で患者さんが元気になったときには他の医師が決めた治療方針について行くだけの時や他の人が治療したところを見ただけの時よりも、ずっと強い喜びを感じられます。研修環境としては、研修医同士も単に仲がよいだけでなく、互いの実力を認め合いながら高め合っていく“同志”のような存在です。上級医の先生たちも忙しい業務をこなしながら研修医に熱心に指導して下さり、研修医も治療へのやる気が高まるとともに理想の医師像が具体的に描けるようになってきます。医学生の皆さんも、ぜひ一度当院に見学に来て私たち研修医の充実した仕事と研修環境を疑似体験してみてください。

## ■病院理念

地域に根ざした総合医療をめざして

1. より高度な臨床
2. より深い研究
3. より広い教育
4. より積極的な保健活動

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は秋田県厚生農業協同組合連合会の一員として、日本赤十字や済生会病院と同様に公的病院です。秋田県南地区における地域中核病院として、地域に必要な医療ニーズに応えるべく、common disease はもとより在宅医療から三次救急まで、また小児救急や周産期母子医療、検診事業など幅広くかつ高度の医療・保健福祉活動を行っています。多くの分野で横手市のみならず、北の大仙・仙北地域や南の湯沢・雄勝地域も医療圏におさめ、秋田県南のセンター病院として機能しています。また、救急医療では救急告示医療機関の指定を受け、従来より県南の三次救急の役割を担ってきております。ICU・CCU・NICU・SCU 施設をもち、外傷、心血管・脳血管の救急患者などすべての分野での医療の完結性をめざしています。(指定)救急告示病院、へき地医療拠点病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、外国人医師研修施設、臨床研修病院

### ●診療科・医師数

診療科名	消化器・腫瘍内科	呼吸器内科	循環器内科	血液内科	外科	乳腺外科	小児科	心血管外科	整形外科	脳神経外科	眼科
医師数	5	2	6	3	11	1	4	2	4	3	0
指導医数	3	0	5	2	5	1	1	0	3	3	0

診療科名	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	皮膚科	放射線科	形成外科	麻酔科	病理診断科	歯科	合計
医師数	3	4	2	0	0	2	0	2	1	55
指導医数	2	3	1	0	0	0	0	1	0	30

- 許可病床数 : 586 床 (一般 467 床、地域包括ケア 113 床、結核 6 床)
- 入院患者数 (1 日平均) : 441.8 名
- 外来患者数 (1 日平均) : 1,000.7 名
- 平均在院日数 (一般病床) : 15.4 日
- 分娩件数 : 388 件
- 救急医療の提供実績 : 平成 27 年度の患者受入状況は、小児科 3,366 人、循環器内科 2,144 人、消化器・糖尿病内科 1,864 人、整形外科 1,382 人、形成外科 823 人、脳神経外科 978 人、呼吸器内科 724 人、外科 632 人、産婦人科 514 人、その他 2,597 人、内入院患者は 2,899 人で、原因別では、交通事故を含む事故 15.2%、急病 84.8%、来院方法は、救急車 18.5%、その他 81.5%となっている。地域救急医療では 3 病院による病院群輪番制を採用しているが、当院の役割は大きく、またその責任も重い。横手市管内の救急車受入は、当院が 70%を超えている。

- 医療法上の位置づけ : 2 次医療機関
- 救急取扱件数 : 15,024 件
- 救急車取扱件数 : 2,899 件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安 : 【1年次】499,800 円 (月額、手当・税込)、6,760,000 円 (年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】531,400 円 (月額、手当・税込)、7,847,200 円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 東京都農林漁業団体健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (H26.11.4 開所)、基本保育時間 7:30～18:30、365 日運営)  
【その他】保育の種類 基本、延長、休日、夜間、一時、2 次、病児・病後時

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 10 名
- 応募資格 : 平成 29 年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類 : (1) 研修申込書 (当院所定様式) (2) 履歴書 (当院所定様式) (3) 卒業 (見込み) 証明書
- 試験内容 : 面接
- 申込締切日 : 平成 29 年 7 月 31 日 (予定)
- 試験実施日 : 平成 29 年 8 月下旬

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1 年次 5 名 うち女性 1 名  
2 年次 4 名 うち女性 1 名
- 研修医の主な出身大学 : 東北大学、秋田大学、琉球大学、日本医科大学
- 当直回数 (月平均) : 2 回 (A 直 17:00～22:00 (1 年次有)、B 直 22:00～翌日 8:30 (2 年次から有))
- 研修終了後の進路 : 当院での後期研修
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (内科、外科、病理診断科)

## ■申し込み、問い合わせ先

秋田厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院  
総務管理課

013-8610 秋田県横手市前郷字八ツ口 3 番 1  
TEL 0182-32-5121 内線 2007 FAX 0182-33-3200  
E-mail hrkjmsom@air.ocn.ne.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、プライマリケアに対応できる研修医の育成のため、麻酔科を必修科目とし、さらには他の選択必修科目についても全科の研修を強く推奨しています。また、2年次の選択科目における研修科目数、期間、時期などについて、研修医の希望を最大限に尊重し直前まで変更可能とするなど、柔軟なスケジュール調整を行っています。

指導体制については、それぞれの研修分野において、豊富な臨床経験を有する指導医が中心となって、各研修医の習熟度や適性を見極めながら、きめ細かい指導を行います。

救急医療を学ぶ絶好の機会である当直業務については、多くの研修医が不安を抱いているのも事実と思われませんが、当院では指導医または上級医が全例最終チェックを行うよう徹底しています。さらに、心肺停止例などの重症例では、救急医療に精通したICU当直医師も協力して診療に当たりますので、研修医1人で不安なまま診療を行ったり、途方に暮れるようなことはありません。また、当直明けは完全休暇となっています。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：市立秋田総合病院卒後臨床研修プログラム／副院長兼卒後臨床研修センター長
- 研修スケジュール 募集人数9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						麻酔科	救急科	選択必修科目				
2年次	地域医療	選択科目											

## ●協力型病院名（科目）

秋田大学医学部附属病院（内科、救急科、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科ほか）	秋田県立脳血管研究センター（脳卒中診療部、脳神経外科、神経内科）
市立角館総合病院（内科、外科、産婦人科、精神科）	秋田厚生医療センター（救急総合診療部）

## ●協力施設

市立大森病院	秋田市保健所	秋田県赤十字血液センター
独立行政法人国立病院機構あきた病院		

## ■教育体制

### 【豊富な勉強会・カンファレンスを実施】

(1) 基本的手技に関する講習会(4月～5月にシミュレータを用いた採血、注射および点滴に関する講習会を行います)、(2) モーニングセミナー(7:30から各指導医によるプライマリケアに関する講義を行います。)、(3) 救急外来カンファレンス(毎週水曜日7:30から行っています。)、(4) 救急外来症例検討会(年に数回実施しています。)、(5) CPC(病理検討会を随時行っています。)、(6) 地域医療連携の会(年に数回実施しています。)、(7) 医局勉強会、(8) ICL Sインストラクター資格取得、(9) 上記の他、保険診療、医療安全、感染対策、褥瘡、緩和ケア、救急、小児、NSTに関する勉強会を実施しています。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

「できない」、「わからない」ままじゃ終わらせない。これが当院の研修病院としての基本的なスタンスです。初期臨床研修終了後、どこの施設や科に進んでも通用する普遍的な知識や技術の習得と、種々の医療従事者による医療チームの“核”たる存在にふさわしい良識のある医師としての在り方を指導します。熱意と愛情のある指導の提供と研修医にとって不安のない研修環境作りへ、病院として一丸となって取り組んでいます。

当院では何よりも研修機会を優先しています。勉強会、講習会、カンファレンスなど研修医の学習に要する機会は最大限に尊重し、その間にはどの科を研修中であれ誰が指導医であれ、通常の診療業務は100%免除となります。研修医にとって多くの症例を経験することが重要な事は言うまでもありません。しかし、ただ単に数多い症例を経験することが望ましい研修でしょうか？当院では「安全で質の高い医療の提供」の大原則の下、研修医個々人の習熟度や適性、負うべき責任に見合った研修を指導します。当院では決して「放任」しませんが、逆に「甘やかし」もしません。本気で「良い医師」を志す熱意のある仲間が、一人でも多く当院で研修されることを期待しています。

4年連続フルマッチの理由を、是非皆さん自身の眼で確かめて下さい。

### ●先輩研修医から一言

当院の魅力の一つは「研修病院力」です。当院では、研修医向けの勉強会が多く、当直や病棟業務では、常に上級医がおり、相談しやすい環境となっております。手技や症例についても、上級医から一つ一つフィードバックをいただきながら経験することができるため、漠然と数をこなすよりも、理解を深めながら確実に経験を積むことができます。

また、院内全てのスタッフが親身になって丁寧に指導して下さいます。不明な点は納得いくまで指導を受けることができ、自分のペースに合わせて成長できていると実感しています。是非、一度見学に来て下さい。

## ■病院理念

### 【理念】

市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

### 【基本方針】

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

秋田県がん診療連携推進病院に指定されており、平成24年7月に東北初となる断層撮影が可能なマンモグラフィを導入し、乳がんの早期発見に努めているほか、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設に認定されており、肝胆膵領域の外科手術の実績を有しています。また、肝疾患診療連携拠点病院の指定を受けており、県内における肝炎治療の中心的役割を担っているほか、循環器診療の分野においては、128chマルチスライスCT装置を用いた冠動脈CT検査による診断も可能となっています。

### ●診療科・医師数

診療科名	循内	消内	糖内	呼内	血内	神内	精神	小児	皮膚	外・乳外	脳外	心外
医師数	5	9	3	3	4	2	5	5	2	9	2	1
指導医数	4	6	2	2	4	1	3	5	1	6	2	1

診療科名	耳鼻	整形・リハ	泌尿	産婦	眼	麻酔・手術	放射線	病理	救急	歯科	合計
医師数	2	4	6	5	1	5	1	1	2	1	78
指導医数	2	3	4	3	1	3	1	1	2	0	57

- 許可病床数：456床（一般374床、結核22床、精神60床）
- 入院患者数（1日平均）：355名
- 外来患者数（1日平均）：1,015.6名
- 平均在院日数（一般病床）：13.1日
- 分娩件数：251件
- 救急医療の提供実績：第2次救急医療機関として、平成25年度以降年間22,000人以上の救急患者を24時間体制で受け入れております。平成24年9月からは、小児科初期診療部門を設置し、夜間・休日の救急診療を行っております。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：22,123件
- 救急車取扱件数：2,116件
- 救急医療を行う診療科：全診療科（眼科を除く。）

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1年次】400,000円（月額、手当・税込）、5,478,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】450,000円（月額、手当・税込）、6,435,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：公的医療保険：全国健康保険協会管掌健康保険 公的年金保険：厚生年金保険 労働者災害補償保険法適用、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り(H26.4月開設)開園時間7:00～18:00 週3回24時間保育を実施【その他】院内保育所に病児保育所を併設しております。

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：9名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)大学卒業(見込み)証明書 (3)成績証明書 (4)健康診断書
- 試験内容：(1)小論文 (2)個人面接
- 申込締切日：平成29年7月31日の予定
- 試験実施日：平成29年8月下旬実施予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 8名 うち女性 4名  
2年次 8名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学、弘前大学
- 当直回数(月平均)：4回(1年次は副当直(17時～22時)、当直は2年次から開始(当直明けは完全休暇))
- 研修終了後の進路：秋田大学医学部附属病院、市立秋田総合病院等
- 後期研修プログラムの有無：有り(内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、フリーローテーションコース)

## ■申し込み、問い合わせ先

市立秋田総合病院

事務局総務課

010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4-30  
TEL 018-823-4171 FAX 018-866-7026  
E-mail [ro-homn@city.akita.akita.jp](mailto:ro-homn@city.akita.akita.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院では以前から職員全体が研修医を育てる意識が強く、大学からのたすき掛けを含め、全国から集まった多くの研修医が澆刺と動き回っている。指導方針は、研修医自身が手を下し問題意識を持って自分で考える力を養うことである。又、生活背景も見据えた全人的医療を指導している。更に屋根瓦方式での知識と技量のレベルアップを進めている。救急受入数は県内随一であり、各研修医とも多くの症例を経験し、広い分野でスタンダードな臨床能力が身につく。研修医セミナー、画像診断勉強会など教育システムも充実している。プログラムは希望に応じ年途中で柔軟に微調整している。地域の小規模病院研修では総合診療が学べ好評である。当院は新幹線駅前に位置し、仙台まで1時間半、東京まで3時間10分で行け、空港にも近く、学会活動にも利便性が高い病院である。平成26年5月に移転新築した新しく明るい病院である。緑と水の豊かな自然や、全国的に有名な花火、新人音楽祭など活気あふれる大仙で研修時代を過ごして欲しい。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : 大曲厚生医療センター卒後臨床研修プログラム／仁村 隆
- 研修スケジュール 募集人数8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科（一般内科・循環器科・消化器科）						救急	選択必修	自由選択				
2年次	地域医療	自由選択（1ヶ月相当の救急当直）											

## ●協力型病院名（科目）

東京ベイ・浦安市川医療センター（救急）		市立大曲病院（精神科）	
協和病院（精神科）		平鹿総合病院（第一内科・第二内科・外科・心臓血管外科・小児科・整形外科・脳神経外科 他）	
秋田大学医学部附属病院（皮膚科・眼科・放射線科・病理診断科・心臓血管外科・乳腺外科）		秋田県立リハビリテーション・精神医療センター（精神科・リハビリテーション科）	

他9施設

## ●協力施設

秋田県赤十字血液センター	山下医院	伊藤内科医院
木村内科医院	仙南診療所	

## ■教育体制

教育システムとして、年間を通して脳神経外科・整形外科・外科の救急症例X線写真・CT・MRI等を指導医が解説する画像勉強会や毎回テーマを決めた研修医セミナーを週1回開催するとともに、学会・地方会・研究会・院内病理症例検討会での発表機会を設けています。豊富な症例を通じた充実した研修が期待できます。

麻酔経験数1ヶ月30例～50例  
 外科 鼠径ヘルニア、虫垂切除等低難易度手術中心に執刀、将来外科志望者には胃切除程度まで執刀  
 消化器科 内視鏡超音波その他消化器検査日々多数症例あり  
 整形外科 研修については骨折・脱臼等整形外科的救急患者の初期治療、創傷処置の習得、画像診断を研修、よくある骨折については執刀してもらう。  
 耳鼻咽喉科 地域の入院適応のある耳鼻咽喉科患者のほとんどが当科に入院するためまんべんなく疾患を経験できる。  
 等々内科系、外科系の研修症例数は非常に多い。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

大曲厚生医療センターは、花火で有名な大曲（大仙市）にあります。平成26年5月にはすぐ隣地に移転新築しました。大曲は高速道路、新幹線、空港などアクセスも良好で、東京での研究会参加も日帰り圏内です。また、約13万人の二次医療圏をカバーし、救急はこの地域の7割以上の患者が当院に集中し、各研修医ともcommon diseaseをはじめ多くの症例を経験できます。新病院では屋上にヘリポートを備え、広範囲に亘る迅速な救急医療に対応可能です。また救急ワークステーションと緩和ケア病棟も備えております。更に研修医勉強会、画像診断勉強会、救急症例検討会などで研修医同士が互いの経験を共有しています。見学より実地経験を重視し、カテーテル挿入なども早期に研修医が手技者となっています。意欲のある研修医をお待ちしております。

### ●先輩研修医から一言

当院には14人の初期研修医がおります。病院規模に対する研修医数は多すぎず少なすぎず、研修医それぞれが診断・治療方針の決定や手技を豊富に経験することができます。研修医同士で症例を共有する勉強会や、指導医による講義・手技の指導が毎週頻繁に行われており、指導体制も非常に充実しております。また、救急搬送患者数は県内有数の多さであり、日々様々な症例に初療から携わる機会があることも当院の良い点です。診療科同士の垣根が低だけでなく、コミニカルとの協力体制もしっかりしているので、日々の研修で困ったことがあればすぐ気兼ねなく相談できる体制が整っております。病院の立地も良く、仕事以外でも充実した時間を過ごせることは勿論、東京・仙台の勉強会に参加しやすい点も魅力かと思えます。是非一度見学にいらして下さい。美味しいお酒を用意してお待ちしております。

## ■病院理念

### 【基本理念】

私たちは、安全で質の高い患者本位の医療を提供し信頼される病院を目指します。

### 【基本方針】

常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め、広く医療従事者の育成を行います。  
 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。  
 地域医療・保健・福祉施設と緊密に連携し、地域医療の充実に努めます。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

県土の18.3%にあたる広大な面積を有し、老年人口は36.8%と高齢化地域となっており、入院外来患者の状況、死因から見ていわゆる4疾病5事業に占める割合が非常に高く、疾病予防を中心とした、がん検診等保健予防活動に積極的に取り組み健康教室、生活習慣の改善に向けた啓発に努めています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	消化器科	循環器科	小児科	外科	呼吸器外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	産婦人科	耳鼻科	麻酔科	検査・病理	緩和	合計
医師数	3	4	2	4	7	2	7	3	4	3	2	3	1	1	46
指導医数	3	3	1	4	5	2	5	2	3	1	2	2		1	34

- 許可病床数 : 437床（一般433床、感染症4床）
- 入院患者数（1日平均） : 3725名
- 外来患者数（1日平均） : 764.4名
- 平均在院日数（一般病床） : 13.2日
- 分娩件数 : 280件
- 救急医療の提供実績 : 日当直の救急体制は、医師他18名の医療スタッフで対応しており、各診療科においても独自の拘束体制で、できるだけ専門分野の医師による診療に努めている。CT（64ch）は2台体制で迅速で的確な救急医療の提供に努めている。また、日曜祝日は小児救急、休日救急等医師会の応援による診療連携も構築している。

- 医療法上の位置づけ : 2次医療機関
- 救急取扱件数 : 18,214件
- 救急車取扱件数 : 3,048件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安 : 【1年次】499,800円（月額、手当・税込）、6,756,500円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】531,400円（月額、手当・税込）、7,627,200円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 東京都農林漁業団体健康保険組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】無し  
【その他】育児休職・深夜業制限・時間外勤務等の措置・時間外労働制限・短時間勤務

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 8名
- 応募資格 : 平成30年医師国家試験受験予定者、事前の病院見学を必須とします。
- 応募必要書類 : (1) 研修申込書（当院様式）(2) 履歴書（当院様式）(3) 卒業見込み証明書
- 試験内容 : 面接試験
- 申込締切日 : 平成29年7月下旬
- 試験実施日 : 平成29年8月中旬、日程調整可

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1年次 7名 うち女性 1名  
2年次 7名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学 : 秋田大学、東北大学
- 当直回数（月平均） : 3回（当直は1年次10月から開始）
- 研修終了後の進路 : 当院、静岡赤十字病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り（外科、整形外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、消化器科）

## ■申し込み、問い合わせ先

秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター  
 総務管理課 臨床研修担当

014-0027 秋田県大仙市大曲通町8番65号  
 TEL 0187-63-2111 FAX 0187-63-5406  
 E-mail [info@okmc.jp](mailto:info@okmc.jp)

●当院の臨床研修の特色

- プライマリ・ケア研修の充実に主眼をおいたプログラムとしており、特色は以下の3点であります。
- 1) 「救急」研修3ヶ月は救急診療科1ヶ月、救急センター内外傷外科ユニット（整形外科担当）ないし脳卒中診療ユニット（脳外科担当）で1ヶ月、残り1ヶ月は通年型プログラムとして救急センター時間外救急研修にあって、当院の特色である一次・二次救急研修を充実化したこと。
  - 2) 「地域医療」を2ヶ月とし、地域連携病院において、へき地・在宅医療、介護施設巡回診療および住民健診など地域医療全般の研修を広く経験できるようにしました。
  - 3) 「選択必修(2科)」とされた5診療科での研修を、外科2ヶ月、小児科1ヶ月、麻酔科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月の計6ヶ月にし、プライマリ・ケア全般にわたりバランスよく研修することを重視するとともに、選択科を8ヶ月として個々の研修医の研修設計にも自由度を保てるよう配慮しました。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：秋田厚生医療センター／齊藤 崇  
●研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			救急	麻酔	小児科
2年次	産婦人科	精神科	地域医療			自由選択						

●協力型病院名（科目）

秋田大学医学部附属病院（内科、外科、産婦人科、小児科、精神科、その他選択科）	能代厚生医療センター（内科、外科、産婦人科、小児科、精神科、その他選択科）
大曲厚生医療センター（内科、外科、麻酔科）	由利組合総合病院（内科、外科、小児科、産婦人科）
藤原記念病院（地域医療）	秋田緑ヶ丘病院（精神科）

他8施設

●協力施設

秋田市保健所	秋田中央保健所	特別養護老人ホーム	高清水寿光園
秋田県赤十字血液センター			

■教育体制

本院の研修教育体制の特徴は多彩かつ充実した研修企画にあります。

- 1) オリエンテーション約2週間：各部門のスタートアップ研修、接遇、医療安全、ワークショップ等
- 2) 研修セミナー：basic program 一年次対象（前半46回、毎週水金朝、4月-7月）（後半13回、毎週木朝、9月-12月）及び advanced program 二年次以上対象（32回、毎週火曜夕、5-1月）
- 3) 研修医カンファランス：（第2・4木曜夕、通年）全研修医対象、各人の担当症例の中から教育的価値が高く全員でその経験を共有すべきケースを2例発表
- 4) 救急カンファランス：（第1・3木曜夕、通年）全研修医対象、研修医による救急センターで経験した対応に苦慮した例、問題症例、全員で共有すべきケースの発表と、各科指導医が救急疾患関連のレクチャーを行います。

■メッセージ

●指導医から一言

当院は秋田市北部ならびに男鹿・南秋・潟上地区の「命の砦」として地域の信頼を集めており、平成17年のスタート以来、毎年高いマッチング率を達成し、秋田大学病院などの協力病院からの受入分も併せ常時20人前後の初期研修医の集う県内最大規模の研修病院です。救急を中心としたプライマリ・ケア現場における初期対応能力と総合力の育成、多彩なカンファランス開催、学会・研究会での発表をとおしたプレゼンテーション教育に力を入れたプログラム運営と研修企画を特色としています。さらに、平成24年4月には秋田県の委託を受けて「秋田県総合診療・家庭医研修センター」も開設され、総合医育成拠点としての歩みも始まり、新たな活気が生まれつつあります。真の地域医療実践の担い手としての活躍を期する情熱のある諸君の参集を大いに期待します。

●先輩研修医から一言

当院は県内でトップクラスの救急外来患者数、救急搬送受入数を誇り、2年間の研修で学ぶべき「救急外来での初期対応」を早期から学べます。日当直研修は指導医と共にいるため、対応に困った際も安心して行えます。1年次の上半期の毎週水金曜日には各科指導医より救急外来での初期対応に的を絞った朝講義があり、救急の全貌を掴めない1年次には非常にためになります。また、指導医の先生の数が豊富で、診療科研修でも自分のスキルアップにつながる有意義な研修を行うことが可能です。もう一つの魅力は、研修医向けのカンファランスが多いことです。カンファランスは毎週行われ、研修医が救急外来や病棟で経験した症例をプレゼンテーションし、他の研修医と共有し理解を深めています。是非一度見学に来て当院の研修雰囲気を感じて下さい。

■病院理念

- 基本理念  
患者中心の医療の実践  
質の高い医療の提供
- 基本方針  
1. 安全で良質な医療の提供  
2. 地域連携と救急医療の推進  
3. 研鑽と研修に努め信頼され選ばれる病院形成  
4. 誇りと働きがいを持てる職場の構築  
5. 健全で効率的な経営の実践

■診療内容

- 診療の特徴、実績  
当院は県央北部地域の「One and only」といってよい地域基幹病院で、癌診療拠点認定病院です。一次・二次救急に力を入れ救急患者数は県内随一、プライマリケアに重点をおいた初期研修プログラムです。平成24年4月より県の委託で秋田県総合診療・家庭医研修センターを設置、救急総合診療部と連携し更に充実を計っております。癌診療を中心とした消化器病、心筋梗塞、脳卒中、腎臓病の循環器病・脊椎外科領域は、三次救急からリハビリテーションまで一貫したスタッフと設備で高度専門領域研修が可能です。

●診療科・医師数

診療科名	内	腎内	糖・代謝	呼内	消	循	小	小外	外	呼外	脳外	緩和ケア	整
医師数	4	3	4	3	11	6	3	1	6	2	3	(1)	8
指導医数	2	3	1	1	5	5	1	1	5	2	2	(1)	5

診療科名	皮	泌	産婦	眼	耳鼻	放	麻	リハ	総合診療	病理	保健活動	合計
医師数	-	2	5	2	2	2	3	(1)	1	2	1	74
指導医数	-	2	3	1	1	2	3	(1)	1	2	-	48

- 許可病床数：479床（一般 477床、感染症 2床）
- 入院患者数（1日平均）：418名
- 外来患者数（1日平均）：1,092.9名
- 平均在院日数（一般病床）：14.5日
- 分娩件数：495件
- 救急医療の提供実績：内科7,231人、循環器科1,431人、小児科2,916人、外科1,033人、整形外科3,938人、脳神経外科1,810人、産婦人科600人、眼科188人、耳鼻科1,680人、泌尿器科755人、皮膚科887人、その他171人 合計22,640人
- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：22,640件
- 救急車取扱件数：3,275件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1年次】499,800円（月額、手当・税込）、752,760円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】531,400円（月額、手当・税込）、1,250,400円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：東京都農林漁業団体健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し（病院借上げ住宅 50,000円まで補助有り）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（病院敷地内に私立の認可保育園）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：12名
- 応募資格：平成30年3月医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業(見込)証明書 (3)健康診断書 (4)成績証明書
- 試験内容：(1)作文 (2)面接
- 申込締切日：平成29年7月末(予定)
- 試験実施日：平成29年8月(予定)

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 12名 うち女性 3名  
2年次 8名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学、島根大学、自治医科大学
- 当直回数（月平均）：4回
- 研修修了後の進路：秋田厚生医療センター、秋田大学医学部附属病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院、雄勝中央病院、東北大学病院、新潟大学病院、都立駒込病院、京都府立医科大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（全科）

**申し込み、問い合わせ先**  
秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター  
総務管理課 臨床研修担当

011-0948 秋田県秋田市飯島西袋一丁目1番1号  
TEL 018-880-3000 FAX 018-880-3040  
E-mail [akikumi@akikumihsp.com](mailto:akikumi@akikumihsp.com)



## ●当院の臨床研修の特色

### 【プログラムの特徴】

当院では内科・救急部門・地域医療・産婦人科・精神科・小児科を必修科目として設定し、1年次で内科6ヵ月、救急部門1ヵ月、産婦人科1ヵ月、精神科1ヵ月、小児科2ヵ月の計11ヵ月と内科・救急部門・選択科目（外科・整形外科・泌尿器科・放射線科・地域保健）から1科目を選択し1ヵ月研修する。

2年次で地域医療を1ヵ月、残り11ヵ月は当院における必修科目を再度重点的に研修したい場合や、協力型臨床研修病院や臨床研修協力施設において他の科目（麻酔科・呼吸器内科・地域保健）を研修したい場合に対応が可能。

### 【研修医会議の開催】

より良い研修が行われるよう、毎月第1木曜日に研修医会議（指導医・研修医・事務方が参加）を開催し、研修に関する意見や要望を吸い上げ、研修環境の改善に努めています。

### 【その他】

医局は各科の垣根がなく、まとまりがあります。また、消化器内科関連のスタッフ及び手術件数が多いところが特徴といえます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：市立横手病院臨床研修プログラム／伊勢 憲人

●研修スケジュール 募集人数4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急	産婦人科	精神科	小児科			選択科
2年次	地域医療							選択科					

### ●協力型病院名（科目）

横手興生病院（精神科）	秋田赤十字病院（選択科（呼吸器内科、麻酔科））
-------------	-------------------------

### ●協力施設

横手保健所	市立大森病院	秋田県赤十字血液センター
-------	--------	--------------

## ■教育体制

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1 研修医当直・救急カンファレンス（週3回程度） | 6 内科・外科・放射線科カンファレンス（毎週木曜） |
| 2 外科カンファレンス（毎週月曜）        | 7 研修医のためのミニレクチャー（毎週金曜）    |
| 3 研修医症例検討会（第1・第3火曜）      | 8 各病棟カンファレンス（月1回）         |
| 4 医局勉強会（第2・第4火曜）         | 9 臨床病理カンファレンス 随時（月1回程度）   |
| 5 消化器勉強会（第2・第4水曜）        |                           |

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

自治体病院として約128年の歴史があり、地域の皆様から安心して気軽に受診していただいている病院です。医局は常勤医24名、後期研修医3名、初期研修医8名（たすきがけ2名含む）と比較的小規模ですが、その分、他科との垣根がなくストレスがありません。研修医が経験できる症例、手技の数も多く、プライマリー・ケアを学ぶには最高の環境です。始めは病棟で入院患者さんの診察、次に検診者の診察、そして副当直を経て、午後の予約外の患者さんの診察、最後に一人で当直と段階を踏んで患者さんに接してもらっています。これまでの初期研修医の皆さんは全員問題なく成長し、当院や他院の後期研修に進んでいます。また、消化器内科、外科、整形外科、産婦人科は、専門医取得に向けた指導実績も豊富で、2年目の選択科で早期から専門的研修を受けることが可能です。

### ●先輩研修医から一言

市立横手病院は規模としてはそれほど大きくは無い病院ですが、それゆえに先生達や科の間の距離感がとても近くどんなことでも気軽に相談できる、研修医にとっては非常に有難い環境です。地域の医療を担っている病院であることから急性期の患者さんが数多く来院し、病棟管理や外来診療、当直を通して研修医として学ぶべきプライマリーケアや基本手技について数多く経験することができます。私が実際に研修して感じた市立横手病院の魅力の一つが、2年間のプログラムでの選択科を極めて自由に選ぶことができることです。研修医が比較的少人数であることもあり、選択科をほとんど希望通りに選べ、やる気さえあれば非常に多くの症例や手技を経験・習得することができます。

興味を持たれた方は、ぜひ気軽に見学にいらしてください。

## ■病院理念

- 基本理念  
地域の人々に信頼される病院を目指します。  
安心できる良質な医療の提供  
心ふれあう人間味豊かな対応

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

主に横手市（人口約10万人）を医療圏とし、自治体立病院として地域に根ざした医療を行っています。病床数は、一般病床225床（5病棟）、感染症病床4床の計229床です。標榜科は、内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、頭痛・脳神経内科、神経内科、血液腎臓内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科となっています。他に、人工透析、宿泊ドック等を行っています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内分泌内科	頭痛・脳神経内科	外科	小児科	産婦人科	整形外科	泌尿器科	放射線科	リハビリテーション科	心療内科	呼吸器内科	神経内科	血液腎臓内科	眼科	合計
医師数	0	7	3	2	1	6	1	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	27
指導医数	0	4	1	1	0	5	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	17

- 許可病床数：229床（一般225床、感染症4床）
- 入院患者数（1日平均）：175.6名
- 外来患者数（1日平均）：657.3名
- 平均在院日数（一般病床）：11.5日
- 分娩件数：143件
- 救急医療の提供実績：平成27年での対応は10,069人、うち救急車搬送が1,030人となっている。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：10,069件
- 救急車取扱件数：955件
- 救急医療を行う診療科：内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、泌尿器科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト（REIS）をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1年次】500,000円（月額、手当・税込）、7,050,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】510,000円（月額、手当・税込）、7,200,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無（必要に応じてアパート等を借上げ、有配偶者は月額8万円、単身者は月額6万円を上限として当院で負担します。）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】無し

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4名
- 応募資格：平成30年医師国家試験合格予定者で、医師臨床研修マッチングに参加する者
- 応募必要書類：(1)申込書 (2)履歴書 (3)卒業見込証明書又は卒業証明書 (4)成績証明書 (5)健康診断書
- 試験内容：(1)面接
- 申込締切日：マッチング日程により決定（平成29年8月末頃の予定）
- 試験実施日：随時（事前に日程調整する）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 2名 うち女性 0名  
2年次 4名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学、東京医科歯科大学
- 当直回数（月平均）：4回（1年次の10月から指導医とともに22時まで 1年次の1月から指導医とともに翌朝まで 2年次から当直開始（指導医はオンコール対応））
- 研修終了後の進路：市立横手病院、秋田大学医学部附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（消化器内科、外科、整形外科、産婦人科）

## ■申し込み、問い合わせ先

市立横手病院  
総務課 企画係

013-8602 秋田県横手市根岸町5番31号  
TEL 0182-32-5001 FAX 0182-36-1782  
E-mail yokotehp@yokote-mhp.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院は、地方の中核病院としてプライマリケアから専門医療、2次救急まで幅広い診療が求められています。そのような状況下、当プログラムでは、専門に偏らない豊富な臨床経験を積み、適切な初期診療能力を習得できるよう配慮しました。さらに、専門科を決めた後は、その科で専門知識、診療能力の習得が可能となります。その為、1年目で必修・選択必修科目を終了させ、将来専門とする科目を長く研修できます。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

●プログラム名／プログラム責任者 : 雄勝中央病院卒後臨床研修プログラム／大塚 聡郎  
 ●研修スケジュール 募集人数 5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急	選択必修		選択科目		
2年次	地域医療	自由選択・2ヶ月相当の救急当直										

## ●協力型病院名 (科目)

佐藤病院 (精神科)	北秋田市民病院 (地域医療・内科・外科・整形外科・脳外科他診療科の中から選択)
湖東厚生病院 (地域医療・内科・整形外科他診療科の中から選択)	俱知安厚生病院 (地域医療・内科・外科・整形外科・脳外科他診療科の中から選択)
秋田厚生医療センター (地域医療・内科・外科・整形外科・脳外科他診療科の中から選択)	平鹿総合病院 (地域医療・内科・外科・整形外科・脳外科他診療科の中から選択)

他7病院

## ●協力施設

菅医院	秋田赤十字血液センター	岩手県立山田病院
-----	-------------	----------

## ■教育体制

医局抄読会 (毎月第2、第4水曜日)、研修医症例検討会、院内職員研修会、クリニカルパス、ICLS講習会、医療安全対策研修会、緩和ケア研修会、ISLS/PSLS、JPTEC、CPC (年2回)

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

湯沢市は秋田県最南端のち。北東北の穏やかな土地型の街、小野こまちや佐々木希さん、檀蜜さんのような女性があちらこちらで見かけられる秋田美人の街、お酒が美味しい街でもあります。当院は中規模ながら地域の中核病院です。医師不足に悩ませながらも、各科のドクターは個性的であり、かつ仲がよく職場環境はアットホームです。地域医療に突き付けられた (いろんな意味で) 厳しい現実を実感しつつ、一方では地域医療の奥深さを学ぶことができます。日常診療では、人間の有り様を目のあたりにする現実が満載で、非常にドキドキさせれます。ぜひ当院での研修をご検討くださいませ。

### ●先輩研修医から一言

研修の魅力は、何といっても (私は秋田県イチだと思っています) 自由度が高い点です。正直、好きな時期にこの科を回れない・・・就職前から決められていた毎朝義務参加の研修医カンファ・・・など、自分で選んだ研修なのに縛られるのはどうかな、と思っていました。

雄勝では、①定員が少ないので自由なローテーション作成可能、②自主性を重んじられた時間の使い方が可能 (最近救急での必要性を感じ、皆でエコーの練習中・・・強制ではなく自主的にやっているのが実になります)、③指導医の先生方・メディカル皆さんがフランクで何でも相談に乗ってくれるので、頑張りたいとき&頑張れないとき (例：当直明け)、心強いです。他に、④小野小町の出所なので女性職員が皆さん美しい (本当です)、⑤オフも充実 (お酒、温泉、美味しいご飯、私の実家) !

## ■病院理念

「信・望・愛」を基本とし、①地域から信頼される医療 ②良質で希望溢れる医療 ③人間愛豊かな医療を提供いたします。

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
 公的医療機関及び救急告示病院かつ地域の中核病院として機能しており、急性期から慢性期疾患に幅広く対応しております。

●診療科・医師数

診療科名	内・循	消	小	外	脳	整	泌	産	耳	麻	病理	眼科	皮膚科	合計
医師数	2	0	2	6	2	3	2	2	2	1	1	1	1	25
指導医数	1	-	1	4	2	2	1	2	1	1	1	1	1	18

●許可病床数 : 380床 (一般 376床、感染症 4床)  
 ●入院患者数 (1日平均) : 214.1名  
 ●外来患者数 (1日平均) : 684.9名  
 ●平均在院日数 (一般病床) : 20.3日  
 ●分娩件数 : 109件  
 ●救急医療の提供実績 : 救急患者取扱人員  
 内科 1,654・消化器科 793・小児科 1,935・脳神経外科 1,043・整形外科 1,493・外科 550・産婦人科 252・眼科 159・泌尿器科 347・耳鼻咽喉科 718・歯科口腔外科 78・その他 444

●医療法上の位置づけ : 2次医療機関  
 ●救急取扱件数 : 9,446件  
 ●救急車取扱件数 : 1,214件  
 ●救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

●研修手当 ※実績等による目安 : 【1年次】499,800円 (月額、手当・税込)、6,752,434円 (年額、賞与・手当・税込)  
 【2年次】531,400円 (月額、手当・税込)、7,627,200円 (年額、賞与・手当・税込)  
 ●研修医に対する各種保険等の適用 : 東京都農林漁業団体健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険  
 ●医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意  
 ●宿舍の有無 : 無し (病院借上げ住宅 50,000円まで補助有り)  
 ●出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】無し  
 【その他】短時間勤務制度、育児休職

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数 : 5名  
 ●応募資格 : 平成30年医師国家試験受験予定者  
 ●応募必要書類 : (1)履歴書 (2)卒業 (見込み)証明書 (3)健康診断書 (簡易) (4)成績証明書  
 ●試験内容 : 面接、作文  
 ●申込締切日 : 平成29年度9月末予定、その後も可能  
 ●試験実施日 : 随時連絡により対応

## ■現在の研修状況と進路

●研修中の人数 : 1年次 0名 うち女性 0名  
 2年次 5名 うち女性 1名  
 ●研修医の主な出身大学 : 秋田大学  
 ●当直回数 (月平均) : 3回  
 ●研修終了後の進路 :  
 ●後期研修プログラムの有無 : 無し (内科・外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・麻酔科)

## ■申し込み、問い合わせ先

秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院  
 総務管理課

012-0055 秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡 25  
 TEL 0183-73-5000 FAX 0183-73-3749  
 E-mail ogachi-1@lily.ocn.ne.jp

## ●当院の臨床研修の特色

- 【枠を超えた研修】新たに立ち上げた総合診療（外）科で、自前で外科手術もしてしまう総合診療、そして消化器センターで消化器内科と消化器外科の枠を取っ払った研修が当院の二枚看板です！いろいろなことができるスーパー Dr を目指したい研修医に最適な環境。
- 【実践】診断も治療もどんどん経験し習得したい研修医を歓迎。全大腸内視鏡検査を修得し、ポリペクも経験した研修医や、腹腔鏡下胆摘術、結腸切除術を執刀した研修医の実績あり。消化器外科志望研修医には消化管手術執刀、肝胆膵手術の第一助手、上下部内視鏡マスターも可能です！
- 【ちょうどいいサイズ】大病院ではないので、大学病院のように、何でもあるわけではありません。ただ、研修に必要なモノ（ヒト）、一般診療に必要なモノ（ヒト）は揃っています。2年間の研修が消化不良にならないちょうどいいサイズです。
- 【関東と交流】昭和大、慈恵会医科大から、年平均9名の研修医が当院で外科や内科の研修を。由利本荘で研修しながら関東の研修医と交流できる。
- 【優しく自由】怒鳴られないとやる気が出ない方、決まったレールの上を自動的に移動したい方には向きません。
- 【普通の救急】一般病院における標準的な内容の救急。ものすごく激しく、忙しい救急の修行を望む研修医には向きません。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：本荘第一研修病院群基本研修プログラム／柴田 聡
- 研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内 科			将来の専門科を選択				救 急				
2 年次	精神科	地域医療	救急	選択必修科目				選択科目				

## ●協力型病院名（科目）

秋田大学医学部附属病院（内科・外科・産婦人科・小児科・小児外科・整形外科・麻酔科・脳神経外科・精神科・放射線科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・救急）	由利組合総合病院（小児科・産婦人科・麻酔科・脳神経外科）
市立横手病院（小児科・産婦人科・救急）	
菅原病院（精神科）	

## ●協力施設

由利本荘市直根診療所 伊藤医院	由利本荘市笹子診療所 釜石ファミリークリニック	独立行政法人国立病院機構あきた病院 礼文町国民健康保険船泊診療所
--------------------	----------------------------	-------------------------------------

## ■教育体制

- 【救急症例検討会】当直（副直）で経験した典型例、または非典型例を提示し、経験を皆で共有します。「ダメ出し」の会ではなく、指導医も含めて皆で勉強する会です。研修医のみならず指導医にとっても知識の再認識の場として好評です。
- 【病棟症例検討】病棟で経験した症例を学会形式で発表。1 年目は「典型例」を、2 年目は研究会、学会発表の形で。
- 【各科カンファレンス】各科で独自の専門カンファレンスを開催。
- 【臨床基礎講座】院内外の講師を招き、実地指導を。研修医と指導医の両者の勉強に。2016 年は独協医科大総合診療科、滋賀医科大呼吸器内科から講師を招聘。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

1990 年に日本初の腹腔鏡胆摘手術を始めたのが本荘第一病院です。その後も、日本（ほぼ）初の試みをいくつも行ってきており、何事にもチャレンジする文化が根付いている本荘第一病院です。  
そしてこの度、外科的診断 & 治療も行う総合診療科を立ち上げました。4 年前に始まった消化器センター、消化器外科と消化器内科の枠を取っ払い、シームレスな消化器診療を行っています。総合診療、外科、消化器内科をハイブリッドした指導医の下で、いろいろなことができる Dr を目指したい研修医にとって、最高の環境と自負します。

### ●先輩研修医から一言

当院は全国的に見ても臨床研修病院の規模としては小さい病院ですが、逆にそれを活かして研修できる点がメリットだと思います。具体的には他の病院と比べて患者さんの数が少ないことにより、一人一人の患者さんに対する時間が取れるため、より臨床に即した密度の濃い研修医生活を送ることができます。  
また、指導医の先生方の人数も他病院より多くないため、非常に風通しの良い医局となっており、何か困ったことがあれば科を跨いでの相談も気軽にできる環境であるということも魅力の一つです。  
研修カリキュラムや研修内容に関しても研修医側の希望を可能な範囲で考慮して頂けるので、自分の興味のある範囲に関して深く学ぶことができます。  
オン・オフもはっきりしており、自分のペースで研修したい方にはベストな病院だと思います。  
少しでも気になった方は、まず当院に見学に来て独特の温かい雰囲気を感じてみて下さい。

## ■病院理念

- ‘地域と手をつなぐ医療’
1. やさしい病院を実行します。
  2. 安心、安全で医学水準の高い医療を実現します。
  3. 患者様の人権とプライバシーを尊重した医療を実行します。
  4. 病気の予防と健康管理・健康増進の活動を広げてゆきます。
  5. 癒しの川で闘病の意欲を高め、いのち輝く医療を展開します。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
- 【豊富な数】病床に比し手術・検査件数が多い病院です。
- 【先端医療】診療は常に時代の先を行くよう心がけています。例えば、腹腔鏡検査の先駆けであり、「腹腔鏡胆嚢摘出術」を日本で初めてスタートさせたのが当院です！
- 【消化器救急のセンター】医療圏の消化器急患は原則すべて受け入れ。医療圏の消化器センターを目指しています。
- 【地域密着】「地域と手をつなぐ医療」という病院理念が示すように、医療は病院で完結しないと同様に研修も院内で完結しない、との考えから、種々のイベントに参加するのみならず、イベントも創成。

### ●診療科・医師数

診療科名	消	内	循	外	整	心内	婦	放	麻	合計
医師数	3	4	2	6	3	1	1	1	1	22
指導医数	2	2	2	4	3	1		1	1	16

- 許可病床数：160 床（一般 160 床）
- 入院患者数（1 日平均）：132.4 名
- 外来患者数（1 日平均）：481.3 名
- 平均在院日数（一般病床）：18.4 日
- 分娩件数：143 件
- 救急医療の提供実績：種々の重症度の救急患者に対応しますが、脳・循環器系の重症例は大学病院等へ紹介するケースが多いです。ただ、消化器救急に関しては医療圏のセンター的存在として全ての救急患者に対応しています。しかし、倒れそうになる程忙しくなることは稀で、経験した疾患を当直中に復習する余裕があります。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：5,011 件
- 救急車取扱件数：693 件
- 救急医療を行う診療科：消化器科、内科、循環器内科、外科、整形外科、心療内科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisj.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1 年次】550,000 円（月額、手当・税込）、6,960,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】570,000 円（月額、手当・税込）、7,200,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会健康保険、厚生年金基金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】産休・育休有。申請により育児の間は当直や拘束が免除される。

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4 名
- 応募資格：平成 29 年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：履歴書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成 29 年 8 月末
- 試験実施日：随時

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1 年次 3 名 うち女性 0 名  
2 年次 0 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：
- 当直回数（月平均）：月 2～3 回（1 年次は副当直、2 年次から当直）
- 研修終了後の進路：
- 後期研修プログラムの有無：有り（消化器科、内科、循環器科、外科、整形外科）

## ■申し込み、問い合わせ先

社会医療法人青嵐会 本荘第一病院  
秘書課

015-8567 秋田県由利本荘市岩瀬下 110  
TEL 0184-22-0111 FAX 0184-22-0120  
E-mail [seiran@mail.edinet.ne.jp](mailto:seiran@mail.edinet.ne.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

秋田県北部（大館・鹿角医療圏／対象人口 11.3 万人）の中核病院として、また第二次救急医療機関として、その役割は重要かつ多岐にわたっており、研修には好条件を備えています。

2 年間の臨床プログラムは、必修科目：内科 6 ヶ月、救急 2 ヶ月（必修 3 ヶ月のうち 1 ヶ月相当分は日・当直に充てる。）、地域医療 1 ヶ月、選択必修科目：4 ヶ月（外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、救急の中から 2 科目以上を選択する。）、選択科目：11 ヶ月としています。将来専門としたい診療科を中心に臨床研修の到達目標を達成できるよう配慮しながら研修医の科目選択、研修月数の調整を可能とし、将来の後期研修にもつながる内容で継続して研修できる柔軟性をもったプログラムとしています。

臨床研修の大きな特徴として、日本の救急医療をリードしている「日本医科大学千葉北総病院」での救急研修や「東京医科大学八王子医療センター」の総合診療科での研修、地域医療、選択科目に、離島診療所での疾病バリエーションの経験及び対応能力形成のより、実践的プライマリ・ケアなどを学習すべく「沖縄県立八重山病院と八重山病院離島診療所研修」を追加しより選択の幅を広げました。また、女性が働きやすい職場を目指し「院内保育所」が開設され、研修医の方も安心して子育てと臨床研修が両立できる環境が整っています。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：大館市立総合病院卒後臨床研修プログラム 5 / 吉原 秀一
- 研修スケジュール 募集人数 8 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
1 年次	内 科						救 急			選択必修			
2 年次	地域医療							選択科					

## ●協力型病院名（科目）

日本医科大学千葉北総病院（救急）	東京医科大学八王子医療センター（総合診療科）
大館市立扇田病院（地域医療）	沖縄県立八重山病院（地域医療）

## ●協力施設

秋田県赤十字血液センター	財団法人医療と育成のための研究所清明会 鳴海病院	介護老人保健施設「大館園」
秋田県大館保健所	沖縄県立八重山病院附属 大原診療所	沖縄県立八重山病院附属 西表西部診療所
沖縄県立八重山病院附属 小浜診療所	沖縄県立八重山病院附属 波照間診療所	

## ■教育体制

<p>研修指導医は各診療科の経験 7 年以上の医師をあて、マンツーマン方式を基本に、診療科によっては専門分野ごとに複数の指導医が指導にあたるなど、きめ細かい指導体制をとっています。また、研修医の研修、進路及び生活上の相談等精神的にサポートする指導医（メンター）も配置しています。</p> <p>また、当院と弘前大学医学研究科及び医学部附属病院病院の間で専門医養成病院ネットワークに関する協定を締結し、研修体制の整備を図っています。</p> <p>1. 研修管理委員長名および役職 院長 館岡 博 2. 図書室：有り / インターネット利用環境：利用可 3. 学会、研究会への参加費用支給 有り 4. 救急カンファレンス（毎週火曜日） 5. 臨床病理検討会（年 2 回程度）、研修医の勉強会（月 1 回程度）</p>
---

## ■メッセージ

<h3>●指導医から一言</h3> <p>当院は秋田県北部の中核病院であるが、当地域の医療圏は広大である一方、医療施設は少ない。このような環境の中で、当院は 24 時間、全身麻酔の救急対応ができる唯一の施設である。従って、多くの救急症例が集まり医師一人あたりの症例数が多く、重症例も多数経験することとなる。</p> <p>本院の臨床研修プログラムの特徴は、この豊富な救急症例を余すことなく経験することで高度なプライマリーケア能力の獲得を主眼にしている。各診療科ローテート中も月 5 回程度、救急外来、日当直勤務があり常に救急医療に接して研修を進めている。また、毎週、救急カンファレンスを開催し研修医の経験した症例を各専門医からの意見を交え検討する。その結果はすべての研修医にフィードバックされ研修医全体のスキルアップがはかられる。また、高次救急疾患を経験するために、日本医科大学千葉北総病院救急救命センターとも連携し、また、離島研修経験のため沖縄県立八重山病院とも連携している。当院には弘前大学医学部や秋田大学医学部より多くの指導医が非常勤医師としており、最新の医学知識にも触れることができ、また研修後の進路も決定しやすい環境にある。</p> <h3>●先輩研修医から一言</h3> <p>大学 6 年生のときに大館市立総合病院で 1 カ月実習をしました。当時はなんとなく選んだ病院でしたが、実習のうちに大きな魅力を感じて研修病院として考えるようになりました。その一つには病院全体の雰囲気があります。指導医の先生だけでなく、検査技師や看護師、栄養士、その他のスタッフの方々にも優しく熱心に指導していただき、1 カ月間とても有意義な実習をすることができました。また、当然のことではありますがスタッフ全員が互いに挨拶を欠かさず、とても明るい素敵な環境だと思いました。萎縮することなくのびのびと研修できるこの雰囲気を活かし、たくさんの方々に触れ合いながら少しでも多くのことを吸収していきたいと考えています。</p> <p>当院は、秋田県北の中核病院として、また二次救急医療機関として地域の一般疾患が集まる場所であり、common disease を万遍なく学ぶのに適した環境だと思います。是非、一緒に研修しませんか？どうぞよろしく願います。（研修医 奥村文彦）</p>
---

## ■病院理念

- 《理 念》  
患者さんの安心と満足が得られる医療の展開
- 《基本方針》
1. 患者さん中心の「医療」
  2. 地域の中核病院としての「医療」
  3. 全職員参加の「医療」

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
地域の中核病院として 2 次医療を中心とした診療の実施。2 次救急医療を主に 24 時間診療体制の実施。平成 19 年度に地域周産期母子医療センター設置、平成 21 年度に相談支援センター設置、平成 28 年度に認知症疾患医療センター設置。  
・災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、第二種感染症指定医療機関、精神科救急地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている。  
・臨床実習生（クラークシップ弘大 40 人、地域医療実習秋大 20 人）を受入れている。  
・病床数 443 床（一般 375、精神 60、結核 6、感染症 2）

## ●診療科・医師数

診療科名	呼吸器・循環器内科	消化器・血液・腫瘍内科	内分泌・代謝・神経内科	神経精神科	小児科	外科	呼吸器外科	整形外科	脳神経外科
医 師 数	3	5	3	3	4	7	2	5	2
指導医数	1	4	1	1	3	5	2	1	1

診療科名	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科	放射線科	麻酔科	合計
医 師 数	0	3	5	1	2	1	1	3	50
指導医数	0	1	2	0	1	0	1	3	27

- 許可病床数：443 床（一般 375 床、結核 6 床、精神 60 床、感染症 2 床）
- 入院患者数（1 日平均）：312.3 名
- 外来患者数（1 日平均）：964.1 名
- 平均在院日数（一般病床）：14.3 日
- 分娩件数：482 件
- 救急医療の提供実績：24 時間救急診療を基本方針とし、主として二次救急医療を担い、診療各科の協力のもとに救急患者を受け入れている。また H26 年ドクターヘリ搬送件数は 17 件である。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：8,608 件
- 救急車取扱件数：2,204 件
- 救急医療を行う診療科：全科診療

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisj.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1 年次】530,000 円（月額、手当・税込）、7,160,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】560,000 円（月額、手当・税込）、7,720,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し（病院でアパート等借上げ、一部負担金徴収）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（保育時間：365 日午前 7 時 30 分～午後 7 時（給食有）、対象年齢：0 歳～3 歳）  
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：8 名
- 応募資格：(1) 平成 30 年医師国家試験受験予定者 (2) 医師免許証取得済の者で医師臨床研修を未修了である者
- 応募必要書類：(1) 履歴書 (2) 卒業(見込み)証書 (3) 成績証明書 (4) 臨床研修医願書※指定用紙ダウンロード可 (5) 健康診断書
- 試験内容：面接、書類選考
- 申込締切日：募集時期：平成 29 年 7 月 1 日（予定）から随時
- 試験実施日：選考時期：平成 29 年 8 月 1 日（予定）から随時

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 7 名 うち女性 2 名  
2 年次 4 名 うち女性 2 名
- 研修医の主な出身大学：弘前大学、秋田大学
- 当直回数（月平均）：4 回（当直は、指導医、上級医との副直体制 1 年次は 5 月から開始）
- 研修修了後の進路：弘前大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、麻酔科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科）

## ■申し込み、問い合わせ先

大館市立総合病院 総務課	017-8550 秋田県大館市豊町 3 番 1 号 TEL 0186-42-5370 FAX 0186-42-2055 E-mail soumu@odate-hp.odate.akita.jp
-----------------	--

## ●当院の臨床研修の特色

- 全国の大学から研修医の皆さんが集まっています。当院の研修に魅力を感じ、これまで弘前大学、岩手医科大学、秋田大学、山形大学など東北の大学はもちろん、自治医科大学、東京大学、帝京大学、神戸大学、岡山大学、九州大学など、全国の大学から研修に集まって来てくれました。
- 少人数制のため、研修医一人当たりの症例数・バリエーションが豊富。診療科数、病院規模、患者数に比べて募集定員が少ないので指導医からの指導を受けやすい。多くの指導医から診療科を超えた指導を受けられるのも大きな魅力の一つ。どんどん研修したい人にはぴったり。
- 幅広い領域のプライマリケアを修得 小児医療から高齢者医療、慢性疾患から救急診療まで、広範な医療圏から集まる多彩な患者さんを診療することにより、幅広い領域のプライマリケアを修得できます。
- 十分な指導・バックアップ体制と教育プログラムで研修医をサポート。内科系、外科系の幅広い分野から選択可能で、必修科目でも選択の自由度が高い。(注)内科系(血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科)、外科系(外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科)、その他科目は自由選択で選択可能。
- 充実した病院群を形成し、組織をあげてバックアップ。JA 秋田厚生連病院グループ、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院など

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム) ※平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者 : 能代厚生医療センター臨床研修プログラム／波多野 善明
- 研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科						外科			救急		
2 年次	精神科	地域医療	自由選択									

## ●協力型病院名 (科目)

秋田大学医学部附属病院 (内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、病理診断科)	岩手医科大学附属病院 (内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、精神神経科、産婦人科、放射線診断・治療科、病理診断科)
秋田赤十字病院 (内科系、外科系、救急、麻酔科、小児科、精神科、産科)	JCHO 秋田病院 (内科、外科、眼科、整形外科、地域医療)
能代山本医師会病院 (内科、外科、麻酔科、地域医療)	秋田厚生医療センター (内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、産婦人科、放射線科)

他 8 施設

## ●協力施設

能代保健所 (地域保健)
--------------

## ■教育体制

<p>自分が所属していない診療科の指導医からも、実技指導が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○CPC</li> <li>○講義：当院指導医による講義：4 月～12 月、週 1 回 1 時間、年 30 回程度</li> <li>○救急カンファレンス：週 1 回、研修医が経験した救急患者を 20 分程度で討議</li> <li>○合同カンファレンス：Cancer board (秋田大学腫瘍内科との合同カンファレンス)：月 1 回</li> <li>○画像カンファレンス：週 1 回、各診療科の専門医が診療の参考になる画像を解説を加えて提示</li> <li>○腹部エコー実習、心エコー実習：少人数なのでマンツーマン方式！</li> <li>○各種講演会：秋田大学、岩手医科大学等から講師を招いて講演会を開催</li> <li>○セミナー：がんセミナー、緩和ケアセミナー など</li> </ul>
---

## ■メッセージ

<h3>●指導医から一言</h3> <p>私は多くの研修医に接してきましたが、医師として「自分の考えを持つ」ように常に心がけて欲しいと思っています。初期研修 2 年間でより多くの経験をし、自分の考えを組み立てることにより問題解決能力を身につけていけば、その後も大きく飛躍できると思います。当院では後に述べる「診療の特徴、実績」を生かし、十分な指導・バックアップ体制と教育プログラムを背景にして、少人数制の研修医の皆さんを手厚く指導することを指導方針としています。当院の研修に魅力を感じ、これまで弘前大学、岩手医科大学、秋田大学、山形大学など東北の大学はもちろん、自治医科大学、東京大学、帝京大学、神戸大学、岡山大学、九州大学など、全国の大学から研修に集まって来てくれました。病院見学により肌で感じてみてください。 プログラム責任者</p> <h3>●先輩研修医から一言</h3> <p>当院の魅力は、少人数制のため多くの症例や手技を経験でき、研修プログラムの融通が利くことだと思います。ローテーションの順番を取り合うこともなく、研修が始まってからローテーション順や期間を変更することも可能です。私は地元での研修も考えて関東圏を含め様々な病院を見学しましたが、自分のやりたいことを本当にできる場所、そして自分が本当に必要とされ働きがいのある場所という視点で当院を選びました。他にも魅力はたくさんありますが、百聞は一見に如かず。このメッセージを読んでくださっている方は、すぐにでも見学に来ることをおすすめします。</p>
--

## ■病院理念

わたしたちは、地域中核病院として、より安全で高度な医療を提供するとともに地域の皆様の健康増進に貢献していきます。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
- 病院機能評価 (3rd G: Ver.1.1) 認定病院：最新の病院機能評価で認定された研修病院。
- 秋田県北部と青森県南部の医療を背負う基幹病院
- 広範な医療圏と多彩な疾患
  - 医療圏は非常に広範で、秋田県北部のほぼ全市町村の他に、青森県深浦町までの日本海沿岸に及ぶ。この広範な地域から、小児から高齢者、救急疾患から慢性疾患まで多彩な患者さんが集まる。
- 幅広い救急医療
  - この広範な地域の救急患者の 70% 以上 (月約 900 人) が当院を受診し、従って幅広い疾患に対するプライマリケアを提供している。

## ●診療科・医師数

診療科名	内	精神	呼吸器	消化器	循環器	小児	外	整形	脳外	皮膚	泌尿器	産婦人	耳鼻	放射線	検査	合計
医師数	3	4	3	3	3	2	3	5	2	1	2	4	2	2	1	40
指導医数	3	3	2	2	1	1	3	4	2	1	2	3	2	2	1	32

- 許可病床数 : 456 床 (一般 392 床、精神 60 床、感染症 4 床)
- 入院患者数 (1 日平均) : 359.6 名
- 外来患者数 (1 日平均) : 905.9 名
- 平均在院日数 (一般病床) : 14.8 日
- 分娩件数 : 正常分娩 349 異常分娩 145
- 救急医療の提供実績 : 1 年次は上級医 1 名と共に当直業務を行って指導を受け、1 年次後半には日中の救急外来を担当 (first cal)。2 年次は当直担当医師として当直業務を行うが (first cal)、院内待機する上級医の指導を受ける。当直は 17:00～翌 8:30、日直は 8:30～17:00、合わせて月 4 回程度。

- 医療法上の位置づけ : 2 次医療機関
- 救急取扱件数 : 10,162 件
- 救急車取扱件数 : 2,025 件
- 救急医療を行う診療科 : 全科診療

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安 : 【1 年次】499,800 円 (月額、手当・税込)、752,760 円 (年額、賞与・手当・税込)  
 【2 年次】531,400 円 (月額、手当・税込)、1,250,400 円 (年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 東京都農林漁業団体健康保険、厚生年金、労働災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】無し  
 【その他】短時間勤務制度 夜間勤務免除 育児休職 出産祝金制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 4 名
- 応募資格 : 医師免許証取得見込み者及び医師免許証取得済で医師臨床研修の未修了者
- 応募必要書類 : (1) 履歴書 (2) 卒業 (見込み) 証明書 (3) 成績証明書 (4) 健康診断書 (大学発行のものでも可)
- 試験内容 : (1) 面接 (2) 小論文
- 申込締切日 : 平成 29 年 8 月中旬頃の予定 (要問合せ)
- 試験実施日 : 平成 29 年 8 月中旬～下旬の予定 (要問合せ)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数 : 1 年次 4 名 うち女性 0 名  
 2 年次 1 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学 : 九州大学、岩手医科大学、秋田大学、東京大学
- 当直回数 (月平均) : 4 回
- 研修終了後の進路 : 当院後期研修、各出身大学での後期研修など
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (全診療科)

## ■申し込み、問い合わせ先

能代厚生医療センター  
 総務管理課

016-0014 秋田県能代市落合字上前田地内  
 TEL 0185-52-3111 FAX 0185-55-0123  
 E-mail [somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp](mailto:somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 平成 29 年 4 月より新病院での診療を開始します。一般 170 床、精神 36 床を有し、急性期から慢性期に至るまで様々な症例を経験する事が可能です。
- 軽度な症状から、いかに重症疾患を見い出すか。適切な処方出来るか、3 年目以降をイメージして、マンツーマンで指導！感染症等への適切な処方も学べる時間があります。
- 院外講師を招き、医療安全、感染対策の研修会も実施！
- その他、多職種講演会参加を通じて多方面から医療を学べます。
- 立地条件や処遇良し！基本的に土日勤務や過剰な時間外勤務もなし！
- 角館駅から東京駅まで乗継なしジャスト 3 時間！秋田空港まで約 50 分とアクセス良し！住居手当、通勤手当、日当直手当、時間外手当等あり。土日の日当直は希望する場合のみで、基本的に無理な時間外勤務はありません。明確なオンオフによって、充実した 2 年間となります！休暇も 1 年次 15 日、2 年次 20 日を十分に取得可能です。
- 年間 30 人程度のたすきがけ研修医と交流でき、垣根の低い医局では気軽に相談できます！
- 小規模であるからこそ、研修医の存在価値は大きく、common disease を経験するには良い環境です。頑張りたい研修医に対して当院は応援します！

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：市立角館総合病院臨床研修プログラム／副院長 伊藤 良正
- 研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科						救急部門			選択必修		
2 年次	地域医療	専攻研修（総合研修 3 ヶ月を含む）										

## ●協力型病院名（科目）

秋田大学医学部附属病院（小児科・内科・外科・脳神経外科・小児外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科・精神科・放射線科・麻酔科・救急部・総合診療部）	岩手医科大学附属病院（麻酔科）	市立秋田総合病院（内科・外科・小児科・産婦人科・精神科・麻酔科）
市立横手病院（内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・放射線科）		

## ●協力施設

市立田沢湖病院	市立大森病院	大曲中通病院
---------	--------	--------

## ■教育体制

<p>4 月はオリエンテーションに続き、電子カルテの使い方等の業務に必要な事項はもちろん、院外の生活環境に関する部分までサポートします。（病院見学时よりサポート）</p> <p>教育体制としては、研修医の在籍している診療科に於いて、指導医及び上級医が日常の診療業務開始前又は終了後に研修医等を対象としたミニレクチャーを開催し、フィードバックを与えるとともに、カンファレンス等を通じ症例検討を行っております。</p> <p>大学からの講師を招いた医療安全や院内感染の講演会の他、院内研修会も開催し、救急医療や災害医療に至るまで全職員で学んでいます。</p> <p>なお、これ以外にも秋田大学等より講師を招いての「画像診断検討会」や「臨床病理検討会」等も開催して医学に関する基本的な知識を広く持てるような指導体制を心がけております。</p> <p>院外研修会、研究会や学会への参加は、希望により参加可能としています。</p>
--

## ■メッセージ

<p>●指導医から一言</p> <p>医師が患者さんに求められているものは、個々の疾患を診断・治療できる医学的な知識と、人として信頼に足る人間性です。この二つを獲得するために努力するのが私たち医師の使命であり、2 年間の研修はその礎であると考えます。</p> <p>当院は、高齢化の進んだ地方都市にあり、その中核病院として機能しています。そのため、老人に多い一般的な疾病を幅広く経験することができます。研修医の定員は 1 学年 2 名と少なく、また医局も小規模のため、医局員は皆顔見知りで暖かく指導しています。</p> <p>積極的に研修に取り組む人も、ゆっくりとマイペースで研修に取り組む人も、どちらも大歓迎です。</p> <p>最後に、角館は桜と武家屋敷で有名な昔ながらの観光地です。地域住民は柔和で人情味に溢れ、病院スタッフも非常に協力的で、精神的ストレスを感じずに充実した研修ができることと思います。</p>
--

## ●先輩研修医から一言

当院は病床数 300 未満と研修病院としては小規模であり、かつ医療圏も約 13 万人程度と決して大きくはありませんが、地域の中核病院である為、様々な疾患を診る機会に恵まれます。また地域の特性上、高齢者の受診が非常に多いため、生活習慣病や認知症といった老年期の疾患についても多くを学ぶことができます。初期研修医に必要とされている経験を十分に積めるよう、指導医の先生方をはじめとしたスタッフの方々のサポートも非常に充実しており、個々の要望について柔軟に対応して頂きながら充実した日々を過ごしています。私は学生のころから精神科医志望であったため、総合病院にて精神科での研修を長期間行いたいと考え、自由選択期間が 11 か月である当院に入職させて頂きました。全国的に精神科を長期間選択できる病院は大学病院を除けば多くはありません。そのため私のように市中病院で初期研修を行いたい精神科医志望の方には当院を強くお勧めできると思います。

## ■病院理念

病院理念：私達は、患者さん中心の医療を提供し、皆様に信頼される病院を目指します。  
 基本方針：私達は、患者さんについても安全で、良質な医療と看護を提供するように努めます。  
 私達は、患者さんに十分な説明を行い、患者様の選択に基づく思いやりのある医療に努めます。  
 私達は、医療連携を図り、皆様の健康と福祉の向上に努めます。  
 私達は、常に医療水準の向上を図り、働きがいのある病院を目指し、経営の健全化に努めます。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
  - 当院は、秋田県の北仙北地域に於ける中核病院として、急性期から慢性期までの多種多様な症例に対応し、トータルケアの実践に適した病院であるとともに、精神病床も 36 床を有していることから、秋田県の県南地区に於いては、身体合併症を有する精神疾患の患者さんのケアができる唯一の病院でもあります。
  - 平成 29 年度より電子カルテや 64 列 CT 及び 1.5 テスラ MRI の導入をしております。
  - 急性期医療だけでなく、超高齢化社会に根ざした医療や病診・病病連携の他に、救急隊との情報交換会等、病院に関連する機関との連携を密接に保っています。

## ●診療科・医師数

診療科名	消内	呼内	循内	外科	脳外	整形	耳鼻	産婦	小児	精神	眼	泌	皮膚	リハ	合計
医師数	4	-	2	2	2	3	-	2	1	4	-	1	-	-	21
指導医数	2	-	1	2	2	2	-	2	0	2	-	1	-	-	14

- 許可病床数：253 床（一般 198 床、精神 55 床）
- 入院患者数（1 日平均）：193.6 名
- 外来患者数（1 日平均）：543 名
- 平均在院日数（一般病床）：16.2 日
- 分娩件数：78 件
- 救急医療の提供実績：1 日平均救急患者数は 17.6 人。救急車による救急搬送患者数は 1,244 人/年間。うち、CPA 搬送患者数が 62 人/年間。診療科別では総合診療科 538 人/年間、脳神経外科 226 人/年間、整形外科 202 人/年間、消化器内科 135 人/年間となっております。研修医の当直は原則 2 年次からとしていますが、指導医と相談のうえ、1 年次から月 2 ～ 3 回程度入事が可能です。指導医と 2 名体制で当直を行います。救急隊の申し送りや救急患者の診察に対しては、当日の救急当番医と一緒に対応のうえ、専門医の治療が必要と認められた場合には、オンコールにて専門医に依頼し、対応しております。

全科当直となっており、2 年間で common disease な救急疾患を経験できる事を目指します。当直明けは、基本的に午前中には帰宅するよう推奨しています。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：6,456 件
- 救急車取扱件数：1,244 件
- 救急医療を行う診療科：消化器内科、循環器内科、外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、精神科、泌尿器科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1 年次】600,000 円（月額、手当・税込）、7,200,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2 年次】650,000 円（月額、手当・税込）、7,800,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（予定）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：2 名
- 応募資格：(1) 平成 30 年 3 月医師国家試験受験予定者  
 (2) 医師免許証取得済の者で医師臨床研修を未修了である者
- 応募必要書類：(1) 臨床研修医採用選考申込書（所定様式）(2) 履歴書（所定様式）(3) 卒業（見込）証明書  
 (4) 成績証明書 (5) 健康診断書
- 試験内容：(1) 面接
- 申込締切日：試験実施日の 2 週間前
- 試験実施日：平成 29 年 7 ～ 8 月頃（予定）定員に満たない場合は、その後随時対応

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 0 名 うち女性 0 名  
 2 年次 0 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：-
- 当直回数（月平均）：月平均 2 回（指導医の下で副日当直。原則 2 年次より開始だが、希望により 1 年次から当直可。）
- 研修終了後の進路：-
- 後期研修プログラムの有無：有り（外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、精神科）

## ■申し込み、問い合わせ先

市立角館総合病院  
 総務管理課

014-0394 秋田県仙北市角館町岩瀬 3 番地  
 TEL 0187-54-2111 FAX 0187-54-2715  
 E-mail kakubyou-hp@city.semboku.akita.jp